

幌加内町平成30年予算審査特別委員会 第1日目

平成30年3月15日(木曜日)

○出席委員(9名)

委員長	8番	齋藤雅文君	副委員長	5番	小関和明君
副委員長	6番	春名久士君		1番	稲見隆浩君
	2番	中村雅義君		3番	中川秀雄君
	4番	市村裕一君		7番	田丸利博君
	9番	小川雅昭君			

○欠席委員(0名)

○出席説明員

町長	細川雅弘君
副町長	村上悟君
教育長	児玉博君
総務課長	大野克彦君
産業課長	村上雅之君
建設課長	小野田倫久君
住民課長	竹谷浩昌君
保健福祉課長	中河滋登君
診療所事務長	蔵前裕幸君
保健福祉課長補佐	木下八代恵君
住民課主幹	岩本美佐江君
住民課主幹	加藤誠一君
地域振興室長	山本久稔君
農業委員会事務局次長	柏原潤君
総務課長	三浦依理子君
総務課長	
庶務係長	安藝修君
職員厚生係長	
総務課長	
防災係長	堀川剛史君

総務課 情報管理係長	椿	英	万	君
総務課 財政係長	菊地		宏	君
総務課 管財係長	加藤	洋	恵	君
産業課主幹	新江	和	夫	君
産業課 商工観光係長	松岡		剛	君
建設課主幹	高山	英	樹	君
建設課主幹	藤田	英	樹	君
建設課主幹	藤田	夏	樹	君
保健福祉課 しあわせ福祉係長	山本	めぐみ		君
保健福祉課 あんしん介護係長	北村	康	栄	君
保健福祉課 すこやか保健係長	宮内	智	子	君
地域振興室 主幹	野口	卓	也	君
教育次長	清原	吉	典	君
学務課長	清内	山	涉	君
学校給食 センター次長	三上	賢	逸	君
幌加内高等 学校事務長	高田	美	穂	君

○出席事務局職員

事務局長	宮田	直	樹	君
書記	岡田	由	美	君

◎開会・開議の宣告

○委員長（齋藤雅文君） おはようございます。ただいまの委員数は8名であります。定足数に達しておりますので、直ちに予算審査特別委員会を開きます。

これより平成30年度幌加内町各会計予算の審議を行います。審議に先立ちまして一言ご挨拶を申し上げます。委員各位並びに説明員の皆様におかれましては、朝早くからご出席をいただき、厚くお礼を申し上げます。さきの本会議におきまして予算審査特別委員会が設置され、私が委員長として重責を担うこととなりました。昨年より町議会の新たな取り組みといたしまして、開かれた議会を目指すため、広く町民の皆様へ傍聴いただけるよう予算審査別委員会を議場で開催することとしておりますので、よろしくお願いをいたします。議会は議会の立場で広く客観的に、町民の負託に応えられるよう、政策の内容、費用対効果等、十分に論議を重ねてまいりたいと思っております。能率的かつ効果的な委員会運営がなされますよう委員各位のご理解と皆様のご協力をお願いいたしまして、ご挨拶といたします。

◎議案第11号～議案第17号

○委員長（齋藤雅文君） それでは、これから付託を受けました議案第11号から議案第17号までの平成30年度各会計予算の件を議題といたします。

審議に入る前に、特別委員会の運営方法について説明させます。

○事務局長（宮田直樹君） （予算審査特別委員会運営方法朗読、記載省略）

○委員長（齋藤雅文君） 以上で説明を終わります。

お諮りします。以上の審査方法により直ちに審査を行いたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 異議なしと認め、そのように取り進めることといたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時02分

再開 午前 9時04分

○委員長（齋藤雅文君） これから審査に入ります。

説明員の皆様に申し上げます。今ほども説明がありましたように、新規の部分、昨年と変わる部分を中心に説明を行っていただき、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

早速会議に入ります。

これから議案第11号 平成30年度幌加内町一般会計予算の説明及び質疑を行います。歳出の1款議会費、2款総務費を一括して審査を行います。

説明を願います。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、総務関係の歳出について説明させていただきます。

予算書の73ページ、74ページをお願いいたします。1款1項1目議会費、本年度3,770万9,000円、14万5,000円の増額となっております。主な内容ですけれども、3節職員手当、議員期末手当、これにつきましては前年に比べ16万8,000円の増額となっております。支給割合が4.3月分から4.4月分へ変更になったものでございます。この目については以上でございます。

次のページ、75ページ、76ページをお願いいたします。2款1項1目一般管理費、本年度6,822万7,000円、509万7,000円の増額となっております。これにつきましては、4節共済費、社会保険料、ここにつきましては325万円の増額となっております。内容につきましては、予算段階でありますけれども、臨時職員1名分と地域おこし協力隊8名分が前年よりふえたため増額となっております。続きまして、9節旅費、自治研修旅費におきまして105万2,000円の増額となっております。これにつきましては、職員の研修でありますけれども、自治大学校へ1名増員分と、あと専門研修の部分でふえたことにより増額となっております。このページについては以上でございます。次のページをお願いいたします。77ページ、78ページをお願いいたします。中ほど、備品購入費の中で一般備品購入費348万7,000円となりますけれども、これにつきましては自動体外式除細動器、いわゆるAEDを7台購入するため増額となっております。各小中学校、それから役場、アルク、ルオントに設置予定となっております。続きまして、19節の2段目、上川町村会負担金、これにつきましては前年対比49万7,000円の増額となっております。これにつきましては、上川町村会の事務局職員を1名増にする予定ということで、その分の負担が増額となってきてございます。このページについては以上でございます。

次のページをお願いいたします。79ページ、80ページをお願いいたします。3目文書広報費、本年度228万3,000円、573万9,000円の減額でございます。減額の主な要因といたしましては、昨年広報縮刷版、120周年を記念してつくりましたけれども、これの減額といたしまして247万4,000円、それからホームページの更新費について237万6,000円がありましたので、これがなくなったため大きな減額となっております。この目については以上でございます。

次、4目財政管理事務運営費、本年度1,451万6,000円、19万6,000円の減額となっております。ここにつきましては、ふるさと納税にかかわる経費の計上となっております。内容的には特にございません。

次のページをお願いいたします。81ページ、82ページをお願いいたします。5目財産管理費、本年度2,676万2,000円、592万1,000円の減額となっております。この中では、昨年工事費におきまして沼牛賃貸住宅内の道路排水工事、それか

ら旧幌加内高校の物置の撤去があったため、大きな減額となっております。今年度につきましては、14節使用料及び賃借料の中で二酸化炭素排出抑制整備機器借り上げ料78万2,000円が増額となっております。これにつきましては、CO<sub>2</sub>削減のための補助事業を行っておりますけれども、民間事業者が工事をした後、町がリースをして進めるものとなっております。学校を含め11施設の部分となっております。このリース料につきましては、予算上は一応1年分を計上してございますけれども、工事の進みぐあいによっては若干変更する予定となっております。続きまして、18節備品購入費、公用車購入費につきましては、企画振興課の車1台を更新する予定となっております。

続きまして、6目基金積立金、本年度624万7,000円、4,887万6,000円の減額となっております。次のページをお願いいたします。減額の要因といたしましては、地籍整備基金におきまして3,100万円の減額、それからそば産地活性化振興基金におきまして2,300万円の減額となっております。これらにつきましては、過疎ソフトの充当財源としておりますけれども、当初からの計画によりこのような減額となっております。

続きまして、7目支所及び出張所費、本年度220万6,000円、11万1,000円の減額となっております。この目については特にございませぬ。

次のページをお願いいたします。85ページ、86ページをお願いいたします。9目地域振興費、本年度3,695万1,000円、25万6,000円の減額となっております。この目につきましては、地域振興室、それから住民課と総務課となっております。総務課につきましては、自治区、それから簡易郵便局にかかわるものを計上してございませぬけれども、前年度と同額となり、大きな変更はございませぬ。

次、10目地域情報通信費、本年度9,624万3,000円、7,932万2,000円の増額となっております。次のページをお願いいたします。増の大きな要因でありますけれども、13節委託料のIP告知端末機更新業務委託料、施政方針等でも述べておりますけれども、各家庭にありますIP端末機の更新年度を迎えましたので、本年度新たな機器を購入する予定となっております。なお、予算につきましては全家庭の機器を更新するというので計上してございませぬけれども、今後個人のスマホ、タブレットが使えるか、それから道内15自治体が同様に更新時期を迎えておりますので、そういったところと共同で安価にできないかという検討もこれから行いますので、正式に決定したときにまた新たな経費等が確定するものとなっております。

次、11目総合行政情報システム費、本年度5,487万3,000円、1,646万6,000円の増額となっております。増額の要因でありますけれども、13節委託料の個別業務システム導入業務委託料1,630万8,000円の増となっております。これにつきましては、戸籍システムの機器の更新、それに伴い、システムの構築にかかわる増額となっております。この目は以上でございませぬ。

続きまして、91ページ、92ページをお願いいたします。2項1目税務総務費、本年

度160万5,200円、9万4,000円の減額でございます。ここにつきましては特  
にございませぬ。

次のページをお願いいたします。4項1目選挙管理委員会費、本年度47万9,000  
円、6万9,000円の増額であります。この目も特にございませぬ。

2目知事、道議会議員選挙費、本年度284万9,000円、同額の増額、皆増となっ  
てでございます。これにつきましては、平成31年4月に執行予定の知事、道議選挙にか  
かわる経費となっております。そのうち31年の3月にかかわる経費を計上してござい  
ます。主にポスター掲示、それから期日前投票の経費となっております。この目につ  
いては以上でございます。

次のページ、95ページ、96ページをお願いいたします。5項1目諸統計調査費、本  
年15万7,000円、9万3,000円の増額でございます。今年度につきましては、  
住宅・土地統計にかかわるものが主なものとなっております。このページについては以  
上でございます。

次のページ、97ページ、98ページをお願いいたします。6項1目監査委員費、本年  
度124万1,000円、前年対比0円となっております。この目についても以上でござ  
います。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

これから質疑に入ります。委員各位に申し上げます。質疑は簡潔明瞭に、また一問一答  
になるようお願いいたします。

それでは、事項別明細書73ページから質疑を受けます。73ページ、74ページ、質  
疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 75ページ、76ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 77ページ、78ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 79ページ、80ページ、質疑ありませんか。

小関委員。

○5番（小関和明君） 80ページのところで負担金、補助及び交付金の科目の中で民間  
賃貸住宅建設事業補助金ということで2,000万の予算がつけられていますけれども…  
…

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室のほう。

○5番（小関和明君） わかりました。

○委員長（齋藤雅文君） 77ページ、78ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（齋藤雅文君） 79ページ、80ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 81ページ、82ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 83ページ、84ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 85ページ、86ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 87ページ、88ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 91ページ、92ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 93ページ、94ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 95ページ、96ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 97ページ、98ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 1款、2款全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。  
小関委員。
- 5番（小関和明君） 88ページ、今ほど説明いただいたのですけれども、IP告知端末機更新業務委託料ということで予算計上されていますけれども、実際のこの推進状況、今年度この予算を計上するに当たっての経緯を説明いただきたい。
- 委員長（齋藤雅文君） 総務課長。
- 総務課長（大野克彦君） IP告知の更新業務委託料ということなのですけれども、これにつきましては現在使われておられますのが23年度の4月から運用されておまして、7年が経過してございます。機器の更新、補修に当たってはそれぞれメーカーに依頼しているところなのですけれども、基本的にはサーバー、それから端末機については5年から7年のメーカー保証がつくというようなことになっておまして、今入っているものにつきましては、メーカー側から故障した場合に新たに補給できる部品がないということと言われております。それに伴いまして更新をするということで、サービスの現状のサービス、音声放送、それから画面、そういったサービスを維持したいというふうに考えてございます。
- そういった中で、あとスマートフォン、それから個人が持っているタブレット等にも配信ができないかというようなことで今検討しているところでございます。各家庭の子機をなくして、そういった個々のスマートフォン等に情報を発信して、子機を減らすことによ

って経費も節減できないか、それから先ほども申し上げましたけれども、道内におきまして同じように更新機器を買うところが15自治体ありまして、そういったところと協議会をつくりまして共同購入、共同で構築できないかというところも今、決定はしておりませんが、検討している段階でございます。そういったことによりまして、サーバー等を共同で購入することによって安価にできないかというようなことも検討しているところでございます。現在のところまだ検討段階のことが多いのですけれども、予算上は現状の台数を維持するというようなことで、最大限といたしましょうか、多目に見ておりますけれども、そういった方向性が決まったときにはこれよりは下がっていくのではないかとというようなことで現在のところ考えているところでございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに全般について質疑ありませんか。

○2番（中村雅義君） 関連なのですが、町長の施政方針の中で防災の部分の中で気象情報やらJアラート、その部分もIPの部分に含まれているということなのですか。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 後ほどもちょっとあるのですけれども、防災関係とIPの関係なのですけれども、気象情報、警報出た場合、それから例えば北朝鮮のミサイルがあった場合についてはまず国からJアラートという全国緊急通報システムというのがありまして、それがまず町に入りまして、それからうちの場合は各家庭のIP子機端末に流れるようになってございます。気象情報については、まだ試行している段階で、全部流しているという状況ではありませんけれども、ミサイル関係につきましては昨年から国の情報発信したと同時に各家庭に流れるようにシステムを組んでいるところでございます。後ほども若干ありますけれども、そのJアラートに関する機器につきましても経過年数が7年たちましたので、今回更新するというところで計上させていただいております。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに全般について質疑ありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 1款、2款の質疑を終わらせていただきます。

それでは次に、9款消防費の説明をお願いいたします。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、153ページ、154ページをお願いいたします。9款1項1目消防総務費1億5,070万円、554万9,000円の増額であります。負担金、深川地区消防組合負担金となっております。この増額の主な要因でございますけれども、消防の機器であります空気呼吸器4台、それから空気ボンベ18本、それから救急車に積んでおりますAEDの購入、これに伴います経費が385万4,000円あります。それが大きな要因となっております。

続きまして、2目災害対策費、本年度741万4,000円、比較527万5,000



円の増額となっております。ここにつきまして災害にかかわる経費を計上してございませぬけれども、本年につきましては13節委託料の中の洪水ハザードマップ作成業務委託料といたしまして230万2,000円の増額、それから先ほどありましたJアラート新型受信機更新業務委託料といたしまして326万2,000円の増額となっております。ハザードマップにつきましては、現在つくっておりますハザードマップにつきましては100年に1度の洪水というようなことで国のほうで示されたデータで作成しておりますけれども、昨年国のほうで1,000年に1度の洪水予想というのを出してございまして、それにあわせてまた本町のほうも洪水区域等を変えて作成するという予定をしているところでございまして、Jアラートの受信機更新につきましては、先ほど申し上げましたとおり、経過年数が過ぎたということで更新するものでございまして、またこれにつきましては財源は起債で賄うということで計画しているところでございまして。

9款については以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 消防費について説明が終わりました。

153ページ、154ページ、質疑ありませんか。

中村委員。

○2番（中村雅義君） 町長にちょっとお聞きしたいのですが、深川地区消防組合の部分で、とりあえず6区に変わったという部分の中で、この事務組合の移管というか移動、どの程度進んで、どういうふうになっているか。それから、それにかかわる次の事務組合に移行するための予算化されていないのですが、そこら辺ちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 町長。

○町長（細川雅弘君） お答えいたします。

私どもが空知から上川に移管したということで、丸8年がたとうとしております。その間いろんな事務関係、徐々に上川に移管しているというということで、昨年は選挙区、そして今年からは厚生労働の窓口も変わるということで、行政事務に関して23年からは警察業務が指令室になったということで、消防に関しては警察業務と表裏一体なものではないかということで、これは移管当時から、深川地区消防組合は時間がかかるけれども、いずれは上川のほうに移管させていただくと、こういった案件でございまして。そういった中で、私どもとしてはそろそろ移管の機は熟したという形で、一昨年から深川地区消防組合にアクションを起こしています。そして、昨年は文書による申し出ということで、構成しておりますほかの私どもを除いた1市4町に対しまして文書で申し入れをしたところでございまして。正直深川市を除いた4町につきましては、私どもの事情を十分理解していただいて、移管しても何ら差し支えない、快く送り出していただけると、こういった返事をいただいておりますが、開設者であります深川市、ここは財政上の問題、あるいはいろんな要素も含めて少し慎重にならざるを得ないという回答をいただいているところでございまして。

法律上は、こちらから一方的に申し出て、そこで動きがなければ2年後には自動的に移

管できるといった、そういった法的なシステムにはなっておりますが、その手法によりますとどちらかというところ、円満に脱会できないという形になるのですが、やはりここは円満に脱会をしたいというふうに考えております。昨年文書で申し入れということの文書を行いました。この3月の下旬にまた、組合の議会が終わった後、北空知圏域の話し合いが持たれます。私どももこのままではいけないというふうに感じておりますので、その会議の場面において私は正式にまた文書をもって申し入れをしたいと、こういった表明をする覚悟でその会議に臨んでいきたい。そして、最短で31年度からは移管できるようにどうかお願いをしたいということで申し入れをする予定でございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに153ページ、154ページ、消防費について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 9款の質疑を終わらせていただきます。

では次に、12款公債費、13款諸支出金、14款職員費、15款予備費を一括して審査を行います。

説明を願います。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、185ページ、186ページをお願いいたします。12款1項1目元金4億980万6,000円、466万4,000円の減額となっております。

次、2目利子2,711万1,000円、405万円の減額となっております。内容につきましては、副町長の概要説明のとおりとなっております。なお、予算書の後ろ、201ページに年度末の見込み調書をつけておりますので、後ほどお目通しをいただきたいと思っております。

次のページをお願いいたします。13款1項1目土地取得費、本年度100万円、前年同額となっております。特にございません。

次のページをお願いいたします。189ページ、190ページをお願いいたします。14款1項1目職員給与費、本年度6億5,261万2,000円、1,894万8,000円の増額となっております。

これらの内容でありますけれども、194ページをお開きください。ここに職員給与費の給与、それから職員手当の内訳として掲載してございます。職員給与については、総括の上でありますけれども、給料につきましては596万1,000円の増額、手当につきましては全体で735万4,000円の増額、共済費は452万4,000円の増額となっております。これらの主な要因でありますけれども、それにつきましてはその後ろ、195ページをお願いいたします。195ページに給与の増減の要因が書いてございます。この中で給与改定に伴う増額分ということで、これにつきましては給料ベースアップ等ご

ございましたので、それに伴う増額といたしまして320万1,000円でございます。それから、昇格、昇給に伴う増額分といたしまして345万8,000円となっております。その他の要因といたしましてマイナス69万8,000円でありますけれども、これにつきましては退職、採用にかかわる増減となっております。次に、職員手当につきましては735万4,000円の増額でありますけれども、1つ目といたしましては期末、勤勉手当が4.3カ月分から4.4カ月分に変更になったことに伴いまして263万7,000円の増額となっております。その他の増額分といたしまして471万7,000円ありますけれども、これにつきましては管理職へ異動、それらに伴いまして管理職手当の増、それから時間外手当の減というようなことでそれぞれ原因となっているでございます。職員費については以上でございます。

戻っていただきまして、191ページ、192ページをお願いいたします。15款1項1目予備費、本年度500万円、前年同額となっております。ここについても特に説明はございません。

以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書185ページから質疑を受けます。185ページ、186ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 187ページ、188ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 189ページ、190ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 191ページ、192ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12款から15款全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで12款から15款までに関する質疑を終わらせていただきます。

以上で総務課所管の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時37分

再開 午前 9時39分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じまして審査を続けます。

地域振興室所管の2款総務費の説明をお願いいたします。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） それでは、地域振興室分の歳出の予算説明をさせていただきます。

2目企画費になります。77ページごらんください。77ページ、78ページに参ります。2目企画費、本年度予算6,148万9,000円、前年対比616万8,000円の減となっております。この大まかな理由としましては、平成29年度、120周年関係の事業費がありました。その中で消耗品が150万円の減額、食糧費が250万円の減額、印刷費が86万円の減額ということで、この辺の予算の減が主な要因でございます。それでは、1節のほうからご説明申し上げます。1節報酬11万円でございますけれども、これにつきましては特に説明するところはございません。続きまして、旅費62万4,000円ですが、費用弁償につきましては1節報酬に係る費用弁償となっております。旅費、普通旅費、特別旅費につきましても特に説明することはございません。続きまして、11節需用費でございます。需用費につきましては、これはお試し住宅並びにほろみん号の経費がほとんどでございます。1つずつの説明は特にありませんけれども、主なものとしましては燃料費97万4,000円ありますが、このうちの94万9,000円はほろみん号の燃料費ということになってございます。次のページ、ご参照いただきたいと思います。79ページ、80ページになります。前ページからの需用費のうちの修繕料、これも特にございません。12節になります。役務費2万円ですが、これも特に説明するところはございません。13節委託料につきましては、これも記載のとおりでございます。ほぼ前年同様でございますので、説明するところはございません。14節使用料及び賃借料につきましてですが、車借り上げ料103万7,000円ですけれども、これはほろみん号のリース代でございます。国有地借り上げ料3,000円ですが、これは雨竜川第3鉄橋、その周辺に係る国有地の借り上げ料でございます。19節負担金、補助及び交付金でございますが、これの一番上の全国山村振興連盟負担金4万5,000円から10件、宗谷本線活性化推進協議会負担金、ここまですべては前年同様でございますので、説明することはございません。その次、天塩川治水促進期成会負担金、その次、旭川空港利用拡大期成会負担金、4,000円と1万円でございますけれども、これにつきましては30年度から新規に発生ということで、30年度からそれぞれの期成会のほうに加わるということで発生するものでございます。その下、企業立地促進補助金につきましては、平成24年度に1件発生しております利子補給でございます。ちなみに、31年度までの利子補給ということで確約してございます。その下3つ、夢・人・郷と、あと民間賃貸住宅、諸会議負担金、これにつきましては前年同様ということで、特に説明することはございません。2目につきましては以上とさせていただきます。

続きまして、2款1項5目財産管理費になります。81ページ、82ページお願いいたします。財産管理費のうち地域振興室所管分として説明させていただきますけれども、こ

の中で説明することについては18節備品購入費ということでございます。公用車1台買いかえるということで、購入230万円を予定しております。現在の地域振興室、プロボックスでございますが、平成17年購入ということで、27万3,900キロを超えているということでございます。12年を経過しているということで、最近修繕もかなりかさんでおります。ということで予算計上させていただきました。2款1項5目につきましては以上でございます。

続きまして、2款1項13目になります。89ページ、90ページお願いいたします。2款1項13目地方創生事業費でございます。本年度の平成30年度の予算総額は4,304万円ということで、前年対比3,297万8,000円の増ということになってございます。この主な要因としましては、地域おこし協力隊、合計8名の予算が計上されているということでございます。そば振興につきましては1名ということで、総額375万8,000円となります。福祉支援としまして1名、369万9,000円の計上となっております。残り6名は産業課系ということで6名になりますが、これで2,503万5,000円ということで、合計3,249万2,000円ということでございます。この中で地域振興室所管分につきましては、そば振興に関する地域おこし協力隊ということになりますので、その分だけ、1名の分だけの説明とさせていただきます。それでは、1節のほうからまいります。1節報酬につきましては、前年同様でございますので、特にございません。7節賃金1,856万6,000円とありますが、このうち地域おこし協力隊、そば振興につきましては1名分240万ということでございます。8節報償費につきましては、物産宣伝費については前年同様ということで特にございません。講師謝礼260万9,000円でございますけれども、これにつきましてはそばの里大使及びそばの里アドバイザー、この講師謝礼ということで計上しております。臨時職員年末報償金につきましては、地域おこし協力隊、産業課系になりますので、割愛させていただきます。9節旅費につきましては、費用弁償につきましては1節の分ということでございます。普通旅費の中では、地域おこし協力隊のそば振興のほうの旅費としまして3万2,000円が含まれております。特別旅費につきましては、アンテナショップまるごとにつぼんへの職員の旅費ということで、11回、13名分の経費として計上してございます。11節需用費につきましては、消耗品119万8,000円でございますけれども、これにつきましてはまるごとにつぼん出展にかかわる経費20万円、そばの日及び地域おこし協力隊のそば振興というものが含まれております。燃料費、これにつきましては地域おこし協力隊の車両の燃料としまして36万5,000円のうち14万6,000円が含まれてございます。食糧費につきましては、前年同様ということで特にございません。印刷費、これにつきましてはソバの実のレシピ、料理本ありますけれども、これを今回改訂して5,000部作成したいということでございます。昨年からソバの実に関する料理というののがかなり注目されておりますので、その分を追加して印刷を図りたいということでございます。修繕料につきましては地域おこし協力隊のそば振興分はございません。産業課系で60万円ということで、

割愛させていただきます。12節役務費でございます。電話料につきましては特にございません。洗濯料につきましても特に説明することはございません。13節委託料、共同販売拠点出展業務委託料としまして、東京浅草にあるまるごとにつぼんへの出展委託料ということで、前年と同額ということになってございます。14節使用料及び賃借料でございます。275万7,000円、このうち地域おこし協力隊、そば振興としましては1台分で82万9,440円というものが含まれてございます。駐車場使用料につきましては1万円となっておりますが、地域おこし協力隊全体としての駐車料として見込んでおります。

次のページお願いいたします。91ページ、92ページでございますけれども、前ページに引き続きまして使用料及び賃借料でございますが、借家料としまして、この168万円のうち24万円が地域おこし協力隊のそば振興1名分、24万円というものが含まれてございます。体験教室使用料としましては、そばの里大使が町内でイベントをする際の経費として見込んでございます。16節原材料費4万7,000円でございますけれども、そばの日のそば打ち講習会、また年に1回開催していますそば料理講習会、これの原材料費として4万7,000円見込んでございます。18節備品購入費、地域おこし協力隊備品購入費とあります。そば振興につきましては、この569万円のうち30万円ということで、パソコン、プリンター類が含まれてございます。19節負担金、補助及び交付金でございますが、前年同様ということで特にございませんけれども、一番下の諸会議負担金6万円ですが、この6万円のうち3万円が地域おこし協力隊8名全員分の講習会並びに研修会にかかわる経費として見てございます。

13目全体の中で共同販売拠点出展、アンテナショップ、これに係る総額としましては563万4,000円でございます。また、そばの里大使、そばの里アドバイザーに係る経費としては259万9,000円という総額になってございます。

2款1項13目地方創生事業費については以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

それでは、これより質疑に入ります。事項別明細書77ページから質疑を受けます。77ページ、78ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 79ページ、80ページ、質疑ありませんか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 委託料の関係ですけれども、JR跡地地籍測量業務委託料ありますけれども、昨年度からたしか計上されておまして、今年も3,000万、同額ということで計上されているのですけれども、南のほうから多分やってきていると思うのですが、今年の計上分としては地域的に見ればどの程度まで確定される予算なのでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室主幹。

○地域振興室主幹（野口卓也君） ご説明いたします。

本年度につきましては、現在平成29年度の完了が政和第二までいっていますので、来年度につきましては政和第二から添牛内、大曲までの区間を行う予定で設計を始めようと思っております。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） 最終的には何年度までかかって、どの程度になるか、見通しがあればお願いしたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室主幹。

○地域振興室主幹（野口卓也君） 事業の終了は、平成31年を目指しております。予算の3,000万円のとり方につきましては、起債の借入れの関係もありますので、3,000万円ずつ毎年実施していこうというところで見えております。31年、母子里地区で終了を迎えるわけですが、31年度につきましては来年の終了を見ないと31年度の数値がちょっと出ないものですから、何とも言えませんけれども、全体総額、設計から入れると1億2,000万円ぐらいかかってくるのかなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに質疑ありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 81ページ、82ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 89ページ、90ページ、質疑ありませんか。

田丸委員。

○7番（田丸利博君） 13目の地域創生事業費で地域振興室では地域おこし協力隊1名ということで計上されておりますが、後々備品購入費のほうにも関連してきますけれども、実際人件費等は総務省で対応していただける状況であるのはわかりました。その中で、備品購入費等が町の単独費用という形なのかなと思いますが、細かい計算はよろしいので、1年間地域おこし協力隊が来られたときに町が単独で出さなければいけない費用というのがわかれば、教えていただきたいと思っております。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室主幹。

○地域振興室主幹（野口卓也君） この備品購入費につきましては、先ほど室長の説明にもありましたとおり、産業課と地域振興室の担当分が入っておりますが、私の答えられる範囲、そば振興にかかわる部分でご説明をさせていただきたいと思っております。

備品購入費につきましては、地域振興室としては30万円を本年度見えております。これに係る経費は、隊員用のパソコン1台と複合機1台、それと業務の関係上そば道場の管理のほうも行うということになっておりますので、洗濯機を1台準備して、エプロンあるいはタオル等の洗浄用に準備をしたいと考えております。パソコンが1台15万円、プリンターが約7万円、洗濯機が大体5万円、予算としては具体的にとっておりませんで、少し

多く見積もっておりますが、おおよそ30万円程度かかるのかなというところでの予算計上としております。なお、これに係る経費につきましては、地域おこし協力隊に使われる備品ということで総務省の補助の対象になるというふうに認識しての計上となっております。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） 同じ関係なのですけれども、賃金のところで臨時雇い賃金ということで1,800万円余り計上しておりますけれども、企画のほうにかかわることについてはそば振興の関係の1人だけということなのですけれども、この中で見ている1,800万円余りというのは8人分というふうに理解してよろしいのですか。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） お答えいたします。

7節賃金1,856万6,000円でございますけれども、これにつきましては全て今回の地域おこし協力隊8名分の賃金となっております。それぞれ月額単価というのはまちまちなのですけれども、おおむね17万円から20万円で推移してございます。1人当たり、総務省の計算では人件費年額200万円ということで、月割りにしますと17万円台になるかと思えます。ですので、20万円を設定しますと町費のほうが少ないからかかるといような形になってございますけれども、周辺市町村とかを見ましても総務省の範囲内でやるとどうしても募集に対しての人材が求めづらいということもございまして。そういうこともありますので、基本的には予算上は20万円を設定ということにさせていただいております。また、先ほどの田丸委員からの関連にもよるのですけれども、今回地域おこし協力隊3,249万円ほど計上しておりますけれども、総務省のほうでは人件費200万、その他活動費200万円ということで、1名分400万円になっております。これ8名ですので3,200万円ということで、持ち出しは限りなく少ない方法で予算計上はしてございますけれども、町費の持ち出しとしてはどうしても全くかからないということにはならないのかなというふうに考えてございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに89ページ、90ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 91ページ、92ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 2款全体について質疑を受けます。2款全体について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 2款の質疑をこれをもって終了させていただきます。ありがとうございました。



次に、6款農林水産業費の説明をお願いいたします。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） それでは、6款のほうを説明させていただきます。

6款1項3目になります。農業振興費、127ページ、128ページお願いします。127ページ、3目農業振興費でございます。産業課がほとんどでございますけれども、128ページ、そのうちの19節負担金、補助及び交付金、この中に地域振興室分がございますので、その説明をさせていただきますけれども、例年同様でございます。まず、一番上から、町開発促進期成会負担金、その次の行、全国麺類文化地域間交流推進協議会負担金10万円です。その次、3行目になりますが、社団法人日本蕎麦協会年会費ということで5万円、また19節の一番下になってございますそば活性化協議会助成金81万円、以上の4つが地域振興室分になってございます。前年同様でございますので、特に説明することはございません。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） これをもって説明を終わらせていただきます。

127ページ、128ページ、項目少ないですが、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、これをもちまして6款の質疑を終わります。

次に、7款商工費の説明を願います。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） それでは、7款のほうに入らせていただきます。

141ページ、142ページお願いします。7款1項2目になります。観光費でございます。この観光費のうちの地域振興室分につきましては、142ページ、19節負担金、補助及び交付金になっております。この中の下から3行目、イベント協賛交付金になってございます。420万円とあります。これが地域振興室所管分になりますけれども、内容としましては前年同様でございますが、そば祭りへの交付金が360万円、またフォトコンテストへの交付金が30万円ということで、420万円のうち390万円が地域振興室の所管ということになってございます。

7款は以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明終わりました。

142ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 7款よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 7款の質疑を終わらせていただきます。

以上をもちまして地域振興室所管の質疑を全て終了いたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時04分

再開 午前10時16分

○委員長（齋藤雅文君） 休憩を閉じ、審査を続けます。

住民課所管の2款総務費、3款民生費の一括説明を願います。

住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、81ページお開きください。2款1項5目財産管理費、この財産管理費のうち住民課関係分でございますが、交通安全車、賃貸住宅の管理費でございます。予算総額91万5,000円、前年比555万円と大きく減となっておりますが、これにつきましては沼牛賃貸住宅内道路側溝改修工事が終了したことにより皆減となったものでございます。この目の説明は特にございませぬ。

次に、85ページをお開きください。9目地域振興費、この目も住民課以外の予算が含まれておりますので、住民課関係分についてご説明いたします。住民課関係分の予算総額1,704万5,000円、前年比89万9,000円の増となっております。14節使用料及び賃借料の2段目、路線バス回数券220万円でありますけれども、昨年9月末で65歳以上を対象としたJRバスのお出かけパスの特別定期券が廃止になったことに伴いまして回数券の販売数量が増加していることから、本年度につきましては前年より700冊増の2,200冊分を予算計上したところであります。次に、19節負担金、補助及び交付金の上から2段目、冬期生活除雪支援事業補助金940万円でありますけれども、本年度は昨年度と同額の個人の上限額40万円を20件分、委託の上限額70万円を2件分見込み、予算を計上したところであります。次に、一番下段の路線バス定期券購入助成金183万6,000円ありますが、本年度は深川方面を30名、名寄方面を4名分予算計上したところでございます。この目の説明は以上になります。

次のページをお開きください。12目交通安全対策費、予算額301万円、前年比56万4,000円の増であります。次のページをお開きください。11節需用費、特別修繕料56万9,000円ありますが、これにつきましては幌加内中学校の南側、国道沿いにあります交通安全啓発の看板、これが老朽化していることから、本年度撤去することとし、関係予算を計上したところでございます。次に、15節工事請負費、交通安全施設整備費100万円ありますが、これにつきましては道路の区画線工事で、本年度も実施することとし、予算を計上しております。次に、19節の下から2段目、チャイルドシート等購入費助成金10万円ありますけれども、上限額2万円の5件分を今年度も予算を計上したところでございます。この目の説明は以上であります。

次のページをお願いいたします。3項1目戸籍住民登録費、予算額39万2,000円、前年比18万6,000円の減であります。この目の説明については特にございませぬ。

以上で2款の説明を終わります。

次に、3款の説明に入りますので、99ページをお開きください。3款1項1目社会福祉総務費、このうち住民課関係分の予算ですけれども、1,744万円、前年比4万7,000円の減となっております。19節負担金、補助及び交付金の中ほどになりますが、防犯灯設置費補助金134万3,000円、前年比12万9,000円の増となっております。本年度につきましては、6自治区に対して新規1基、更新40基分を予算計上したところであり、これらの補助率については、8割ということになっております。次のページをお開きください。28節、国民健康保険特別会計繰出金1,367万3,000円ですが、事務費508万2,000円、保険基盤安定軽減分で361万7,000円、保険基盤安定支援分で190万3,000円、財政安定化支援事業68万6,000円、出産育児一時金84万円、短期人間ドック補助金100万円、単独事業のほうで54万5,000円の内訳となっております。この目の説明は以上であります。

次に、105ページをお開きください。4目国民年金費、予算額1万5,000円、前年比1,000円の減であります。この目については特に説明はございません。

次に、5目医療給付費、予算額772万9,000円、前年比30万9,000円の減であります。20節扶助費、重度心身障害者医療費343万2,000円ですが、これにつきましては昨年9月までの実績をもとに予算計上しており、前年比4万8,000円の増となっております。次のひとり親家庭等医療費46万円につきましても昨年9月までの実績をもとに予算計上しており、前年同額となっております。次の乳幼児等医療費342万6,000円につきましては、これも昨年9月までの実績、これらをもとに計算しておりますけれども、前年比22万6,000円の減となったところでございます。この目の説明は以上であります。

次に、6目後期高齢者医療費、予算額3,823万3,000円、前年比635万4,000円の増であります。19節、療養給付費負担金2,589万9,000円ですが、前年比449万1,000円の増となっております。これにつきましては、後期高齢者への給付見込み額12分の1を一般会計で負担するものでございまして、後期の特別会計へ繰り出さず、広域連合へ直接負担するものでございます。次の28節、後期高齢者医療特別会計繰出金1,233万4,000円ですが、前年比186万3,000円の増となっております。内訳といたしまして、事務費で24万5,000円、健診事業分で44万5,000円、後期高齢者医療広域連合事業費分227万円、保険基盤安定分で937万4,000円の内訳となっております。

以上で3款の説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） それでは、説明が終わりました。

81ページ、82ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 85ページ、86ページです。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（齋藤雅文君） 87ページ、88ページです。質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 89ページ、90ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 91ページ、92ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 93ページ、94ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 99ページ、100ページです。質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 101ページ、102ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 105ページ、106ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 2款、3款全般について質疑を受けます。2款、3款全般について質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） それでは、これで2款、3款の質疑を終わらせていただきます。  
それでは次に、4款衛生費の説明をお願いいたします。  
住民課長。
- 住民課長（竹谷浩昌君） それでは、113ページをお開きください。4款1項4目診療所費、このうち住民課関係分の予算についてご説明申し上げます。住民課関係分の予算総額78万3,000円、前年比9,000円の増となっております。この目につきましては、患者輸送車、いわゆる住民バスの経費を予算計上しているところであります。この目についての説明は特にございませぬ。
- 次に、5目の説明をいたしますので、117ページをお開きください。5目環境衛生費、予算額725万4,000円、前年比147万7,000円の減であります。このページの説明はございませんので、次のページをお開きください。19節の2段目、廃屋撤去促進事業補助金250万円でありますけれども、本年度も50万円の5件分を予算計上しておりますけれども、今年の大雪で問い合わせが非常に多くなっております。今後予算不足が生じた場合につきましては補正予算にて対応したいというふうに考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。この目の説明については以上であります。
- 次に、2項1目塵芥処理費、予算額6,766万円、前年比3,680万9,000円の増であります。11節需用費の一番下段になります。特別修繕料1,001万7,000円ですが、これにつきましては、焼却場が平成19年11月の供用開始から10年経過しておりまして屋外の煙突の耐火物の傷みが非常に激しいことから、本年度修繕

することとし、その経費896万9,400円と毎年部分的に行っておりますガス化室の耐火れんが張りかえ104万7,600円の内訳となっておりるところであります。このページの説明は以上でありますので、次のページをお開きください。13節委託料の一番下段になりますが、一般廃棄物最終処分場整備基本設計業務委託料2,986万2,000円ありますが、これにつきましては町長の施政方針でも述べておりますけれども、平成27年度から準備を始めておまして、一般廃棄物最終処分場の次期施設の基本設計業務委託料で、現在平成34年度からの供用開始を予定し、平成30年度で基本設計、31年度で実施設計、32、33年度の2カ年で建設工事を行う計画で国との協議を進めているところがございます。これらについては、国からの交付金3分の1を財源として予定をしているところでもあります。この目の説明は以上になります。

次に、2目し尿処理費、予算額565万8,000円、前年比135万2,000円の増であります。19節、北空知衛生センター組合負担金319万7,000円、前年比135万3,000円の増となっておりますが、施設の修繕費の増加が主な要因であります。この負担金の算定につきましては、前年のし尿収集実績によりまして負担率を經常経費に掛けて算定されておまして、本年度の負担率は4.9パーセントとなっておりますところがございます。この目の説明は以上です。

以上で4款の説明を終わらせていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。事項別明細書113ページから質疑を受けます。113ページ、114ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 117ページ、118ページです。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 119ページ、120ページです。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 121ページ、122ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 4款全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。

中村委員。

○2番（中村雅義君） 先ほど町長にお聞きした部分と同じなのですが、北空知衛生センターの負担金が上がっているわけですが、これも事務組合の移管という部分というのはどの程度考えているのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） 士別地区への移管ということでございますが、その辺については今現在北空知衛生センターとはまだ、消防の関係だとかいろいろな組合の関係もございまして、いつ抜けるかということの明確な時期はまだ決めておりません。という

のは、農業集落排水処理場の脱水汚泥というのがございまして、そちらのほうの処理の明確な時期がまだはっきりしていません。産業課のほうで予算が出るのか、ちょっとあれですけれども、今現在今年度29年度に部分的にうちのパーク堆肥のほうでそれらの処理ができないかということを試験をやっている最中ということで、それがうちのほうで処理ができるということが明確になれば、土別地区のほうに移管できる段取りに入れるということでありまして、土別地区には、昨年度28年度になりますけれども、事前にこういうふうに移管するとするならば現在のし尿の受け入れ等可能かどうかという打ち合わせには行っておりまして、そちらのほうではうちのし尿の量であれば大丈夫ですということではいただいております。ですので、下水処理場の脱水汚泥の処理のほうがうちでできる時期が見えてきた段階で向こうに移行できるかなというような状況でございます。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに全般について質疑ありませんか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 一般廃棄物の最終処分場に関することですが、設計業務委託料ということで今回2,900万円ほどの予算計上されておりますが、相当大がかりな業務になると思うのです。それで、今の処分場、以前から間もなく満杯になるというようなことは聞かされてはいたのですけれども、基本的に大がかりなものになるならば、あの敷地自体もそのまま使えるのかどうか、ちょっとわからないのですけれども、どこかに移転するということも含めて設計も考えているのでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） 次期施設の設置場所につきましては、既存の敷地内の横につける形で計画をしております。一応次期施設の容量につきましては2,530立方ということで、既存が5,900立方ほどでございます。既存の施設については平成13年から供用開始しておりますけれども、当初については、焼却施設が19年にございましたので、その辺で当時は大きかったのかなと。今本町については焼却とあわせての埋め立てでございますので、この容量。面積については1,440平米というようなことで計画を進めているところでございます。ですから、敷地は今既存の場所で賄えるということでありまして、以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、4款の質疑をこれもちまして終了いたします。ご苦労さまです。

次に、8款土木費の説明をお願いいたします。

住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、149ページをお開きください。8款4項1目住宅管理費、このうち住民課関係分でございますが、予算総額1,366万9,000円、前年比290万円の増となっております。11節需用費の一番下段になりますが、特別修

繕料538万4,000円でありませけれども、公営住宅の屋根塗装、みずほ団地で3棟6戸、91万8,000円、幌加内団地で3棟6戸、86万4,000円、緑ヶ丘団地で6棟12戸、129万6,000円、西町団地で3棟6戸、91万8,000円、これとナナカマド、ノースタウンA棟、B棟の合わせて51戸のシャッターのバランス調整、非常に重くなって不便という住民の声から実施することとしまして、その経費が138万8,000円の内訳となっているところでございます。この目の説明は以上であります。

次のページをお開きください。2目住宅建設費、予算額1,192万7,000円、前年比1,714万円の減であります。15節工事請負費、公営住宅旭団地解体工事319万7,000円でありませますが、老朽化によりまして空き家となっております昭和54年建設の1棟2戸を取り壊すものであります。次の政和団地解体工事596万2,000円でありませますが、これも空き家になっております昭和51年建設の2棟4戸を取り壊すこととしております。次の緑ヶ丘団地の解体工事275万4,000円でありませけれども、昭和43年建設の1棟2戸を取り壊す予定で予算を計上したところでございます。

以上で8款の説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしく申し上げます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

それでは、質疑を受けませ。149ページ、150ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 151ページ、152ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 8款全般について質疑を受けませ。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、これをもちまして8款の質疑を終了させていただきます。

以上で住民課所管の質疑を全て終了いたします。

暫時休憩です。

休憩 午前10時42分

再開 午前10時46分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じ、審査を続けます。

これから建設課所管、8款土木費、11款災害復旧費を一括して審査を行います。

説明を願います。

建設課長。

○建設課長（小野田倫久君） それでは、建設課担当分、土木費のほうの説明をさせていただきます。

まず、8款1項1目土木総務費、予算額310万3,000円、前年比で160万8,

000円の増でございます。7節賃金と8節の報償費、これの増が要因ですが、前年度は8款2項1目道路新設改良費のほうに計上しておりましたものを今回土木総務費のほうに移動したために増額となったものでございます。

次に、2項1目道橋梁維持費、予算額1億8,198万円、前年比で4,054万2,000円の減でございます。ここは、次のページをお開きください。次のページで13節の委託料、道路除雪業務委託では政和、添牛内、母子里の基礎集落圏、これが624万8,000円、業者への委託は1億49万4,000円、これらを計上させていただいております。積算につきましては、昨年度より道路除雪業務積算基準を定めておりまして、それによって経費の算出を行っております。16節の原材料費でございますが、砂利の購入で、町内砂利道の整備が一巡し、必要量が減少することから今回543万2,000円を昨年と比べて減額しております。また、単価につきましても運賃込みで見積もっていましたが、とりに行く場面が多いことから、単価のほうもそれに合わせて減額をしている分も含まれております。次に、18節備品購入費でございますが、大きく減額となっておりますのは、前年度13トン、ドーザーとロータリー除雪機、これらを合わせて4,553万7,000円の購入があったものが減になったものでございます。

次に、2目道路新設改良費です。予算額は1億4,881万3,000円、前年比で6,002万8,000円の増となっております。これにつきましては、13節委託料で道路橋梁長寿命化修繕計画に基づき実施する設計業務で1橋、これが630万8,000円、それから点検業務は最終年の5年目を迎えておりまして、残りの38橋の1,502万3,000円の委託を実施するため予算計上しております。また、今年度より取り組む町道幌加内線の調査測量設計業務、これらに2,500万円を計上しているところですが、これらが増額となった要因となっております。次のページをお開きください。次に、15節工事請負費で四丁目線の側溝改修工事、これは伊藤、菊地地先ですけれども、これで675万円、それから橋梁長寿命化で橋梁の補修工事2橋、新北五号東橋と新東六線橋、これを合わせまして3,785万4,000円、それから北七号線の舗装新設工事に1,784万2,000円、そして東二条北線側溝改修工事に1,912万7,000円、そして下幌加内線の道路改良工事で1,200万円、それから南五号線ほか1件の側溝改修工事で769万円を計上させていただいております。また、17節の公有財産購入費では50万円を計上しておりますが、町道下幌加内線の道路改良に伴う用地取得を予定しているところでございます。

次に、3項1目河川改修費、予算額696万6,000円、前年比で597万2,000円の減となっております。11節の需用費で修繕料でございますけれども、前年度よりも170万円ほど増額していただき、400万円の計上でございます。自治区要望等で近年河川の修繕等増加しているための対応でございます。次に、15節の工事請負費で美深越沢川の護岸工事151万2,000円の計上でございますが、昨年は元川の河川整備工事と中島の沢川の堆積土砂除去工事が合わせて922万5,000円ほどございましたの



で、771万3,000円の減額となっているところでございます。

次に、4項1目住宅管理費でございます。ここにつきまして建設課の管理分の説明をします。次のページのほうをお開きいただきたいと思えます。19節の負担金、補助及び交付金でございます。この部分では住宅リフォーム補助金150万円の計上でございますが、これは30万円の5件分の予算を計上させていただいております。次に、持ち家建設促進奨励金でございますが、4,850万円の計上でございます。北方型住宅と一般住宅、それぞれ1件ずつの2件分の計上は去年と同様でございますが、雇用促進住宅8件分の予算についても計上させていただいておりますので、4,000万円ほどの増額となっておりますところでございます。

次に、5項1目簡易水道費でございます。予算額5,228万5,000円、前年比で157万円の増額でございます。28節で簡易水道事業特別会計繰出金5,228万5,000円でございますが、繰り出し基準内分が2,419万4,000円、それから基準外分で2,809万1,000円の内訳となっているところでございます。

次に、2目飲料水対策費でございます。予算額90万円で、前年と同額の計上でございます。ここについては特にございません。

次に、6項1目下水道費で予算額4,116万6,000円、前年比146万1,000円の増となっております。28節の下水道事業特別会計繰出金4,116万6,000円でございますが、繰り出し基準内分が2,671万5,000円、繰り出し基準外分が1,444万8,000円の内訳で計上させていただいております。

以上で8款の説明を終わります。

次に、11款の災害復旧費の説明をいたしますので、183ページ、184ページのほうをお開きいただきたいと思えます。11款1項1目河川道路災害復旧費で予算額4,000円、前年比で1万2,000円の減額となっております。昨年は災害復旧費ございませんでしたので、科目存置となっておりますところでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしく願います。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりましたので、事項別明細書145ページから質疑を受けます。145ページ、146ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 147ページ、148ページです。質疑ありませんか。

中村委員。

○2番（中村雅義君） 町道の除雪委託料についてお聞きしたいと思います。

業者の部分が1億49万円ぐらいの中で、除雪路線の延長の距離ってどれぐらいなのでしょう。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（小野田倫久君） 大変済みません。除雪路線の距離でございますが、まず基礎集落圏の除雪区域の分でございますが、これにつきましては政和地区が3,516メー

ター、それから添牛内地区が1, 830メートル、それから母子里地区は3, 585メートルとなっております。手前のほうの資料で残りの雨煙別以南地区、それから清月以南地区、それから朱鞠内以南地区ですけれども、手持ちに距離ちょっと出ておりませんので、後ほどお知らせしたいと思っておりますけれども、よろしく願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 中村委員、それでよろしいですか。

もう一度。

○2番（中村雅義君） 何でこういうことを聞いたかというのは、除雪費が年々すごく増額になっている部分、その中で実際に利用率というか、除雪してもほとんど通っていない路線というのはかなりあると思うのです。そこら辺なんかはちゃんと精査されているのかどうかお聞きしたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（小野田倫久君） 昨年からは、一応圧雪車で踏んでいた路線等を実際に地先の方をお願いして、4軒ほどございましたけれども、それをやめさせていただいたり、今回も今シーズン除雪に入るに当たって、人家がないというか、建物はあっても人の住んでいないところ、そういうところの除雪を一応やめていく方向で、地権者の方にご相談させていただいて取りやめた件等、一遍には進んでおりませんが、少しでも除雪費を圧縮するという、そういう考え方で、あとやっぱり公平感がないとまずいと思いますので、その辺も含めて対応させていただいているところでございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 149ページ、150ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 151ページ、152ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 183ページ、184ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 8款、11款全般について質疑を受けます。8款、11款全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これをもちまして質疑を終わらせていただきます。

以上で建設課所管の質疑を全て終了させていただきます。

暫時休憩です。

休憩 午前11時02分

再開 午前11時04分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じまして審査を続けます。

これから産業課所管、2款総務費、5款労働費、6款農林水産業費、7款商工費を一括して審査を行います。

説明を願います。

産業課長。

○産業課長（村上雅之君） それでは、産業課所管の予算について説明申し上げます。

予算書の81ページ、82ページをお開きください。2款1項5目財産管理費でありませぬけれども、昨年度新規購入させていただきました産業課所管のエクストレイル、これに係る燃料費と一般消耗品等、これが総体で産業課分は26万4,000円になります。特にほかに説明することはございませぬ。

続きまして、次のページ、83ページ、84ページをお開きください。2款1項8目町有林造成費になります。1節から次のページ、12節役務費までにつきましては特に説明はございませぬ。13節委託料ですが、30年度につきましては政和第一、三頭山の政和登山口、町道政和1線沿いの町有林、それから政和第三、政和6線沿いの旧深名線の防風林のところ、それから政和第三、町道8線奥、政和第三の町道政和10線沿い、それから朱鞠内、まどか裏手の計5カ所の保育間伐及び間伐の業務委託を考えております。15節工事請負費につきましては、町道政和8線奥の間伐予定地を含めた作業道補修に係る工事費の計上であります。また、今年度の予算には計上しておりませぬけれども、町有林事業の推進を行うべく、長留内地区、これはスキー場の裏手のほうになりますけれども、かつて国有林から一括購入した場所になります。それから、政和地区の林道整備について現在道や森林組合と協議を始めておりますことをご報告申し上げておきます。実際の予算等につきましては、31年度から手を挙げる予定で現在協議をしております。

続きまして、89ページ、90ページをお開きください。地方創生事業費、地域おこし協力隊に係る経費をここで見ております。前段で地域振興室からもご説明があったかと思ひますけれども、産業課分といたしましては農業技術センターの職員として3名、それから観光協会職員として1名、振興公社職員として2名の計6名分の賃金やそれに伴う消耗品や修繕料、備品購入費等を計上しております。詳しい内容を申し上げます。まず、観光協会職員の賃金ですけれども、この方につきましては月額20万円を見ております。公社職員の2名分、これも月額20万円を見ております。技術センターの3名分につきましては、通常で募集しております技術センター職員、これと賃金を同一にするために17万8,200円ということで3名分を計上しております。そのほかに、普通旅費といたしましてそれぞれ、観光協会には23万2,000円、公社職員には2名分で33万4,640円、技術センター職員分としましては42万8,000円ほどを旅費として見ております。そのほか、来られたときに居住します住宅用、これのカーテン等の消耗品類を計上させていただいております。それから、住宅の修繕が必要な場合には1件当たり10万円というこ

とで、一応住宅の修繕料もここで見ております。観光協会職員につきましては、携帯電話、これの一部使用料も見ております。それから、観光協会の職員ですので、当然移動するのに車等が必要になります。これにつきましては、燃料費と、レンタルです。車1台、月額約8万3,000円ほどで車の借り上げもこちらのほうで見ております。備品購入費なのですけれども、それぞれの方に家電類といたしまして、観光協会職員には約10万円、公社職員については家電類等を含めまして約200万円程度、それから技術センター職員につきましては3名分で約250万程度の備品、器具費、これはパソコンですとか、いろいろな家電製品を含めての予算計上をさせていただいております。トータルで産業課分6名を合計しまして約2,500万円程度を地域おこし協力隊の経費として計上させていただいております。なお、技術センター職員の3名分につきましては、一般のほうの技術センター費でも予算計上しております。これにつきましては、重複される場合がありますので、どちらかの採用、地域おこし協力隊で採用するのか、それとも一般枠で採用するのか、これによって使わなかった経費につきましては執行残として補正で減額をする予定でおります。

次に、労働費になります。123ページ、124ページをお開きください。労働費、特に申し上げるところはございませんが、町長の行政報告等にもありましたけれども、この4月から労働基準監督署及びハローワーク等がようやく滝川、深川の空知管内から旭川、上川管内へ移管される予定となっております。

次のページ、125ページ、126ページをお開きください。農業委員会費ですけれども、7節賃金、これにつきましては各補助事業における臨時雇い賃金の配分増による増額で、対前年比4万8,000円の増額となっております。そのほかに特に説明することはございません。

続きまして、6款1項2目農業総務費ですが、ここについては特段変わったものはありませんので、特に説明するところはありません。

続きまして、127ページ、128ページ、農業振興費であります。7節の賃金であります。先ほどの農業委員会費でも申し上げましたが、各補助事業等の配分によりまして対象経費が増額になっております。対前年比といたしまして15万4,000円ほど増額になっております。8節報償費、これにつきましては平成30年度より臨時賃金が日額の計算から月額給与形態に変わっております。それに伴いまして、報償費のほうの年末報償金自体も増額となっております。9節旅費ですが、これにつきましては農業振興費につきましては例年年度末で結構不足が生じておりましたので、前年度実績ベースに合わせて若干増額させていただいております。11節の需用費につきましては、これにつきましては前年実績に合わせて若干の減額をしております。19節負担金、補助及び交付金ですが、補助金、これにつきましては農業振興奨励補助金の畑作輪作事業の実施等に伴い500万円ほどの増額をしております。それから、環境保全型農業直接支払いの補助金ですが、これにつきましても取り組み面積の増により対前年比で2,241万3,000円というこ

とで増額になっております。そのほかは、特に補助関係で説明するところはございません。25節積立金ですが、これにつきましては農業振興基金の2号の積立金、これが対前年比278万7,000円の減となっております。要因としましては、低温倉庫等の使用料の一部を積み立てておりましたけれども、起債の元金償還が開始されることに伴いまして使用料を全額起債償還に充当するため、積み立てでそのまま充当してしまうということになりましたので、積み立て部分が減っているということになっております。

続きまして、農地保有合理化事業費です。この項目については、農地保有合理化事業に係る経費であり、事務委託交付金の充当があるものであります。特に申し上げるところはございません。

その次、地力維持増進施設運営費、バーク堆肥の関係ですけれども、これにつきましては11節、消耗費のところ特別修繕料、次のページをお開きください。129ページ、130ページになります。これにつきましては、汚水槽の循環施設修繕に係る経費を計上しております。12節役務費につきましては、手数料で現在実証実験しております集落排水汚泥利用による堆肥の成分分析をここで行う予定であります。13節委託料ですが、最近のバークの需要減に伴いまして、今年度は仕込みをしない予定でありますので、それに伴いますバークの粉碎業務等の減額をしたものであります。16節は、これにつきましては仕込まないということですので、原材料費については削減しております。

続きまして、農業技術センター費になります。ここで、先ほど地域おこし協力隊のところでも申し上げましたけれども、そちらのほうで3名の予定をしておりますので、今年度につきましては技術センター費では2名の賃金ということで、1名分減額したスタイルで予算計上させていただいております。9節、11節については特に説明はございません。

13節委託料の一番下の産業廃棄物処理業務委託料なのですが、過去のパソコン等が結構何台か処分されていないものがありましたので、こちらのほうで処分料といたしまして31万9,000円を見させていただいております。18節の備品購入費で、30年度につきましては超音波の洗浄機、それからマルチペット、刈り払い機を計画しております。

次のページをお開きください。131、132ページになります。農業担い手対策費につきましては、特に説明するところはございません。

その次の経営所得安定対策費になりますけれども、これにつきましては7節から13節委託料までは特に説明はございません。19節、負担金のところですが、地域再生協議会への助成金で115万6,000円、昨年度より15万6,000円の増でありますけれども、この分の増につきましては農協の事務の臨時賃金分ということで、その分をふやしているということになっております。

その下、6款1項9目畜産費につきましては、特に説明するところはございません。

1枚めくっていただきまして、133、134ページをお願いいたします。農業金融対策費ですが、ここにつきましては9万8,000円の減ですが、要因につきましては19節の負担金、補助及び交付金の農業振興資金の利子補給補助金で減となったことによるも

のであります。30年度の予定件数は30件で、融資の残は約8,380万円となっております。

続きまして、農業活性化センター運営費になります。アグリ関係ですけれども、11節、消耗品及び修繕料で例年実績に合わせて若干の減額となっております。12、13節につきましては特に説明するところはありません。15節工事請負費ですが、今年度屋上の防水改修工事を予定しております。1件です。18節の備品購入費ですが、今年度につきましては非常に使用頻度の高い豆腐づくり等に使う油圧の圧搾機、それとガスの回転釜1基、これを更新する予定で備品費を計上させていただいております。

土地改良施設維持管理費であります。これにつきましては例年農業用水利施設の雨煙内ダムの管理業務関係ですが、特に変更等はありませんので、ご説明するところはありません。

次のページをお開きください。13目土地改良事業費ですが、総額で7,631万9,000円となります。これにつきましては、19節負担金、補助及び交付金のところに内訳書いてありますけれども、道営の幌加内中部地区、これにつきましては一応31年度で終了ということで進んでおりますが、こちらのほうで対前年比でプラス1,843万8,000円の予定です。それから、東部地区の経営体育成の基盤整備事業につきましては、前年度よりマイナス356万2,000円の減額で、1,768万8,000円ということになっております。昨年度までありました西部地区につきましては、平成29年度で完了につきましては、皆減されております。新たなものといたしまして道営幌加内北部地区の畑地袋総合整備調査負担金ということで、30年度採択予定になっております北部地区につきましては20万円ほどの調査費の分の負担金ということで見えております。なお、土地改良事業推進協議会の補助金につきましては、本町の農業、農村事業を推進するための経費でありまして、事業に係る賦課金及び臨時職員1名分、改良区の職員1名に相当する人件費をこちらのほうで計上させていただいております。

続きまして、林業費になります。1節、9節につきましては特に説明はございません。11節、消耗品のところではありますが、今年度につきましては熊出没注意ののぼりの作成及び修繕料で箱わなの修繕を計画しております。12節は特にございません。13節委託料、こちらにつきましては昨年導入いたしました森林情報管理システムの保守等を見ております。それから、18節の備品購入費になりますが、これにつきましては今年度調査等のためにドローンを1基購入し、確認作業等、調査のために使用したいというふうに考えております。19節負担金、補助及び交付金、これにつきましては次のページをお開きください。137、138ページになります。この中で上から3段目、未来につなぐ森づくり推進事業ですが、これにつきましては昨年よりも44万4,000円の増額となっております。これについては、新富地区、これの造林に対する補助事業で約5ヘクタール分を今年度は見ております。森林愛護組合の補助といたしまして、今年度啓発資材といたしましてふだん町内会で使用しております回覧板のバインダー、山火事注意等を記載したタオ

ル等をつくる予定であります。

続きまして、水産業振興費になります。これにつきましては、9節、11節につきましては特に説明するものはございません。19節、こちらのほうで運営補助、指定管理者の実績ベースでの補助金の増額となっておりますこと、それからふ化放流事業、商品開発、加工のための奨励補助ということで、これについては継続させていただくことで考えております。

次のページお開きください。139、140ページになります。商工振興費になります。こちらにつきましては、1節から11節までは特に説明するものはございません。19節負担金、補助及び交付金ですが、3段目、町商工振興事業補助金1,671万3,000円ですが、町商工振興事業補助金交付要綱により、町補助の率、これにつきましては経営改善普及事業で4分の1、地域振興事業及び管理費で3分の2ということで定めておりますが、前年に対しまして14万5,000円減額という数字となっております。その次のプレミアムつき商品券発行補助金1,000万円につきましては、これは現状を維持するつもりであります。その下の交流プラザ管理運営補助金につきましては、実績ベースで4万9,000円の増となっております。その下の商工業振興奨励補助金につきましては、概算で3件分、500万円を当初予算として計上させております。申請がもし増加があった場合につきましては、補正で対応することで考えております。

続きまして、2目観光費になります。1節の報酬が去年はあったのですが、今年度につきましては全て皆減となっております。8節報償費、これにつきましては今年度観光用のプロモーション、そのための粗品を約9万7,200円、それと現在取り組んでおります土別、剣淵、和寒、幌加内、1市3町で取り組んでおります観光の関係の物産の宣伝用に50万円ということで予算を計上させていただいております。9節については特に説明ございません。11節、消耗品になります。消耗品で、今年度につきましてはルオントのところのスノーボールの受け金具、ボールを立てるときの受けです。これを作成したいというふうに考えております。修繕料のところでは湖畔のシャワー器具の取りかえ、マイナス31.2度の記念碑の修繕等を考えております。その下の特別修繕料でありますけれども、これにつきましてはルオント関係で縁石、グレーチング、道の駅トイレの排煙窓などのオペレーターの修理を考えております。朱鞠内湖畔のトイレの給水ポンプユニットの取りかえ等、昨年度トイレ等は撤去いたしました。母子里に行く途中にあります275号線の展望台の防護柵の改修、ほろかない湖公園等の各種看板の修繕、三頭山登山道の整備、総額でここに載っております923万4,000円ということで計上させていただいております。次に、12節役務費になりますけれども、こちらのほうでは観光振興機構補助事業として広告掲載料など45万6,000円を計上させていただいております。そのほかには特に説明するものはございません。次のページをお開きください。13節委託料になりますけれども、これにつきましては下から4段目になります。観光プロモーション広告業務ということで、今年度についてチラシ等の作成を考えております。ルオント、これの町

民保養センター機械設備改修工事の実施設計ということで497万2,000円、一番下になりますけれども、三頭山等、うちの抱えている登山道の標柱の設置等、これについて委託をする予定であります。総額1,666万6,000円ということになっております。14、15節については特に説明するところはありません。18節備品購入費のところではありますが、この公用車購入というのは、先ほど地域おこし協力隊のところでも話をしましたけれども、それとは別に朱鞠内湖畔のキャンプ場が今軽トラ2台所有して仕事をいただいているのですが、1台がもう相当古くなっているということで、軽トラを1台、新規購入したいということで考えております。百年記念公園のものにつきましては、グラスキャッチャー1台、テントを4張り、物置用のコンテナを1基購入したいということで考えております。観光の一般備品につきましては、ルオント、レストランそばの里の経年劣化が相当ひどいと言われております椅子、テーブル等、これについて新しいものに更新したいというふうに考えております。19節負担金、補助及び交付金でありますけれども、観光協会の補助で全体で93万8,000円の増額、これは人件費の増及び台湾語のパンフレットを今年度は作成したいということで、その分が増額になっております。それと、観光レンタル用の自転車の備品購入をしたいというふうに聞いております。振興公社への補助金になりますけれども、これにつきましては今年度については、昨年一応工場の屋根塗装というもので工事費を見ておりましたけれども、今年度はその部分が減っております。今年度につきましては、事務所棟の外壁改修、ルオントの自動ドア、それを改修するというので、トータル的には補助金自体が減額になったものであります。それ以外については特に説明することはございません。

最後になりますが、まどか運営費になります。11節、修繕料ですが、ここにつきましてはまどかの本館テラスの防水改修工事、塗膜防水を1件考えております。そのほか、18節備品購入費なのですが、これにつきましてはまどかがオープンして以来、実は設置されている布団が新しいものに取りかえられていなかったということで、宿泊客から結構苦情が出ていたということで、この部分の布団100組、これを更新したいということで計上させていただいております。19節につきましては特に説明するところはありません。

以上で産業課所管の歳出予算の説明を終了させていただきます。ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

それでは、事項別明細書81ページから質疑を受けます。81ページ、82ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 83ページ、84ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 85ページ、86ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）



- 委員長（齋藤雅文君） 89ページ、90ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 91ページ、92ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 123ページ、124ページです。質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 125ページ、126ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 127ページ、128ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 129ページ、130ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 131ページ、132ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 133ページ、134ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 135ページ、136ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 137ページ、138ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 139ページ、140ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 141ページ、142ページです。質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 143ページ、144ページ、質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 2款、5款、6款、7款全般について質疑ありませんか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 先ほどの逐条で言えばよかったのですが、農業技術センター関係なのですが、特に地域おこし協力隊との関係もありまして、去年の予算のときはたしか職員が5名ということで伺っていたと思います。それで、その5名体制に30年度の場合新しく採用する部分も含めて、変わりがないのかどうか。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（村上雅之君） 予定は、地域おこし協力隊3名、それとこちらで130ページに載っております臨時作業員賃金というのが、これが臨時の臨時といたしますか、パートで来ていただいている方、これについては2名を見ております。通常職員、次長を含めて

5名体制、そのほかに2名の臨時の臨時がいるということで一応予算は計上しておりますが、昨年も募集はしましたが、次長を含め雇用している職員としては3名、そのほかに臨時の臨時が2名の5人でやっておりましたので、実質的には過去から比べると2名少ないスタイルでやっていたということになります。30年度につきましても当時マックスいたときと同じように、常時雇用の中で5名、臨時の臨時で2名というふうに一応うちのほうでは考えております。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） この雇用形態については以前からもいろんな指摘もあったと思いますけれども、それで今回特に地域おこし協力隊で3名採用するというのは、こういう手もあったのかと私自身も少し驚いていますけれども、いずれにしても雇用条件なりなんなりで、技術センター自体が十分課せられた任務といたしますか、業務をなかなか完遂しきれていないのではないかと不安といたしますか、疑念、疑問があります。それで、確かに地域おこし協力隊ということで新しい採用の方法も考えてはいるのですけれども、1つは果たして本当に協力隊員として応募があるかどうか、現実的に採用できるかどうかという問題もありますし、仮に欠員ができた場合にうまく計画どおりの業務が遂行できるのかということもあります。その辺の見通しなりなんなりをお聞かせ願いたいと思うのですけれども。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（村上雅之君） お答えします。

今ほどご指摘ありましたように、一応募集はしておりますけれども、本当に応募に来るのかどうかということかと思えます。そもそも地域おこし協力隊で募集した理由といたしましては、現在うちの技術センターの公募につきましては実は道内の農業系の大学、酪農学園大学、帯広畜産大学、これにほとんど限られたようなスタイルで、農業関係の課程を終えられた方ということでの募集をしております。現在生徒数がそれぞれの大学で相当減っている中で、なかなかうちのほうまで大学側としても生徒に声をかけるようなスタイルになっていかないという現実がございました。その中で、地域おこし協力隊につきましては本州まで大きく広く募集範囲が広がりますので、条件としましては変わらず、農業系の大学等を出ていることの条件にしておりますけれども、全国的に募集しますと当然北海道の大学だけではなく相当広い範囲での農業系のそういう人材が確保できるのではないかとということで募集している経緯もあります。それと、一般募集と違うところは、地域おこし協力隊で来ていただけると、今までは町のほうで募集した方については家賃の補助ですとか、そういう住居関係の整備、それに係るものを一切町としては面倒見ていないわけでありまして、これが地域おこし協力隊であれば、経費等が出てきますので、その部分についてもほかの協力隊と同じように若干協力隊で来たときのほうがメリットで面倒見ていけるところがあるということもございまして、地域おこし協力隊で今回募集したということになっております。

ご指摘ありましたように、募集に来なかったときにどういうふうを考えているのかということなのですが、そもそも技術センター自体次の年にやる研究内容ですとか、そういうものは前の年の秋口ぐらいに次年度の研究内容等については会議を開いて決めております。昨年度につきましても実は2名ほど減の中でやっております、やれる範囲というのは若干狭まってきているのが現状であります。今年度につきましても一応5名の体制で募集はしておりますけれども、これがもしそろわなかったときにはということで、昨年度の会議のときに、研究内容につきましては今現在はっきりしている人の中でやれること、それから普及センター、振興局等の農業担当者、そういう方と一緒に共同してやっている研究もあります。その部分についてはやるということで計画を立てて、それ以外のものについては、それぞれ採用された方の得意分野等、いろいろなものがあると思いますので、そういう方がもし採用されたときには年度内で追加できるものについてはその方を交えた中で研究内容を追加していくと、そういうような体制を組んでいるのが現状です。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに全体について質疑ありませんか。

春名委員。

○6番（春名久士君） 138ページの水産業振興奨励補助金の中に含まれるのだろうと思うのですがけれども、例年ワカサギのふ化事業をもう少し積極的に改善してやる必要があるのではないかという、そんな意見があったと思うのですがけれども、30年度はこの補助金を使いながらどのような形で計画されているのか、計画が出ていればお聞かせ願いたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（村上雅之君） お答えいたします。

このワカサギのふ化事業につきましては、議会等でもいろんな場面でご質問等をいただいている経緯もございます。ただ、こちらのものにつきましては、正直北海道内の卵等を提供してくれるところがどんどん減ってきているのが現状であります。正直申し上げますと、洞爺湖ですとか、網走湖ですとか、そういうところにも実は朱鞠内湖の漁組の人間がわざわざ卵をとりに行く、技術を教えながらそちらで採卵をさせて、そのかわりにうちのほうに卵を分けてもらうというような方法で現在もやっているのが現状です。例年の金額等につきましては、確保はしておりますけれども、現実的にはなかなか卵が手に入らないというようなところで動いておりますので、これにつきましては全道的な内水面漁業のほうで卵を確保できるような体制をしていただきたいということで今動いておりますので、そういうことが整えば、うちの放流の数量についてもふやしていくことが可能かと思うのですが、現状ではなかなか数量等がふやせないという現状になっております。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、これで2款、5款、6款、7款に関する質疑を終了

させていただきます。

これをもちまして産業課所管の質疑を終わらせていただきます。ご苦労さまでした。  
暫時休憩です。

休憩 午前 11時46分

再開 午後 1時13分

○委員長（齋藤雅文君） 休憩を閉じまして午後の審査を続けたいと思います。

これより3款民生費、4款衛生費の審査を行います。4款衛生費については診療所予算もあることから、この場から診療所事務長の出席を認めたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 異議なしと認めます。

それでは、3款民生費の説明をお願いいたします。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（中河滋登君） それでは、3款の説明をいたします。

3款1項1目社会福祉総務費、本年度7,748万円、前年比326万1,000円の増でございます。この目では、9節旅費、普通旅費ですが、介護人材確保事業において道外4自治体と本町で連盟組織を結成いたしました。30年度は本町が幹事となります。東京都において総会及び合同相談会を2回実施いたします。そのため地域振興室と連携し、4名分の旅費79万9,000円を組んでいるところでございます。財源につきましては、地方創生推進交付金事業に求めているところでございます。続いて、13節委託料の福祉除雪業務委託料474万4,000円につきましては、35戸分を見ているところでございます。19節負担金、補助及び交付金、下から数えていただきまして10段目に介護人材確保支援事業補助金752万5,000円があるかと思えます。現在実績としましては4世帯10人、プラス町内各事業所に1名就職したことを想定いたしまして3名及び高校生1名分を見て予算計上してございます。同じく下から5段目、老人家庭等福祉灯油代136万5,000円については、195世帯分を見ての計上でございます。

次のページをお願いいたします。この目については特に申し上げることはございませんので、2目老人福祉費、本年度予算9,831万5,000円、前年対比474万1,000円の増でございます。この目では、8節報償費中、高齢者福祉手当257万円でございますけれども、257名分で見ているところでございます。11節需用費、一番下になりますけれども、特別修繕料64万8,000円でございます。この関係につきましては、老人福祉寮の窓については冬期間コンパネを当ててしのいでおりましたけれども、高齢者事業団より人数の減少などから作業ができないお話があり、雪どめを取りつける予算を計上しているところでございます。18節備品購入費、機械器具費で327万3,000円

でございますが、同じく老人福祉寮の蓄熱暖房機が経年劣化により能力低下しております。既に29年度において1台を入れかえさせていただいておりますけれども、残り9台、居室部分の交換、そのほか食堂、事務室の入れかえに関する予算を計上しているところがございます。下の備品購入費13万4,000円ですが、主なものといたしましてはデイサービスで利用するためにブルーレイレコーダー6万8,000円を購入することになっております。このページから次のページ、2目については特にございません。

3目障害者福祉費、本年度予算額5,039万1,000円、前年比31万7,000円の減でございます。この目では、8節報償費、障害者福祉手当62万円でございますけれども、62人分を計上してございます。それ以降このページ特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。次のページにつきましても例年どおりの事業実施というふうになっておりますので、この目、特に申し上げることはございません。

続いて、7目保健福祉センター管理費、本年度予算額3,359万2,000円、前年対比68万4,000円の増でございます。この目では、11節需用費中、一番下段になりますが、修繕料188万8,000円の予算を計上しております。主なものといたしましては、居室のクロス5室分45万8,881円、デイサービスを行いますホールのスチンドグラス、これも雪対策で事業団にコンパネをお願いいたしておりましたけれども、先ほど説明した内容と同様で雪どめを取りつける、そういったことで27万円の予算を計上しているところでございます。次のページをお願いいたします。このページでは18節備品購入費中、機械器具費で374万8,000円、これにつきましてはアルク居住部門の蓄熱暖房機入れかえ、2年度目でございます。2人部屋5室、生活援助員室など残り部分を取りかえる予算を計上しております。備品購入費20万1,000円でございますけれども、最近会議の中でプロジェクターを使って会議を行うケースが大変多くなっております。今までは所持している部署のものを借用しておりましたけれども、借りられない場合などがありましたので、今回はプロジェクターを購入する経費として12万9,600円、それからシュレッダーにつきましては平成8年開設当初より入れかえを行ってきておりませんので、紙詰まりが多いということで、7万848円で買いかえる予算を計上してございます。そのほかは特にございません。

2項1目児童福祉総務費、本年度予算額1,078万1,000円、前年比11万6,000円の増でございます。この目では、8節報償費中、遺児手当50万4,000円、18人分、児童出産祝金20万、2名分、児童養育手当211万2,000円、22人分を計上しているところがございます。13節委託料、季節保育所運営業務委託料477万3,000円については、4名分で計算し、計上しているところがございます。次のページをお願いいたします。幌加内学童保育所運営業務委託料234万円でございますが、15人をベースに計算したところがございます。

2目児童扶助費、本年度予算額5,764万2,000円、前年比878万8,000円の増でございます。この件につきましては、20節扶助費で保育所運営費4,318万

5,000円、31人を基礎として計算しております。児童手当費1,445万5,000円、111人、延べ人数ですが、ベースに計算をし、計上しているところです。それ以外は特に申し上げることはございません。

3項1目災害救助費につきましては、科目存置でございます。

以上で3款の説明を終わります。ご審議のほどをよろしく願いたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

これから質疑を受けます。事項別明細書99ページから質疑を受けます。99ページ、100ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 101ページ、102ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 103ページ、104ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 105ページ、106ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 107ページ、108ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 109ページ、110ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 3款民生費全般について質疑を受けます。民生費全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、3款の質疑を終わらせていただきます。

次に、4款衛生費に進みます。4款衛生費については、診療所所管の予算も含まれております。審査については、それぞれの所管ごとに説明、質疑を行いたいと思います。これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 異議なしと認め、そのように取り進めることといたします。

それでは初めに、保健福祉課所管の4款衛生費の説明をお願いいたします。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（中河滋登君） それでは、4款の説明をいたします。

4款1項1目保健衛生総務費、本年度予算額256万7,000円、前年比45万円の減でございます。この目では、13節委託料、エキノコックス症検診委託料1万6,000円、これは15人分を見てございます。妊婦健診委託料59万8,000円、これについては7名分を見込んだものでございます。3歳児健診精密検査委託料1万円ですが、これは2人分を見て計上しているところでございます。19節負担金、補助及び交付金、下

から2段目でございますけれども、妊産婦健診等交通費助成金で28万2,000円、これは6名分を見込んでの計上でございます。この目、特に申し上げることはございません。

2目予防費、本年度予算額519万1,000円、前年比36万3,000円の減でございます。このページ特に申し上げることがありませんので、次のページをお願いいたします。19節負担金、補助及び交付金で肺炎球菌予防接種助成金20万円、これにつきましては8,000円の単価で25名分を見込んでおります。1つ飛んで、インフルエンザ予防接種助成金299万2,000円でございますけれども、延べ人数で740名分で計算をして計上しているところでございます。この目については特にそのほか申し上げることはございません。

3目健康推進費、本年度予算額410万9,000円、前年比68万1,000円の減でございます。この目では、13節委託料、がん検診委託料につきまして299万7,000円、例年どおり胃、大腸、子宮がん、乳がん、肺がんの検診で、延べ人数としては780名分の予算を見ているところでございます。それから、18節備品購入費で2万1,000円計上しているところですが、これにつきましては血压計を2台購入する予算で計上させていただいております。そのほか19節負担金、補助及び交付金で人間ドック受診助成金70万円、これにつきましては70人分の予算を計上しているところでございます。そのほか特に申し上げるところはございません。

続きまして、4目診療所費、総額で本年度予算額1億3,563万5,000円、前年比3,820万7,000円の減でございます。この目では保健福祉課所管の歯科診療所、朱鞠内診療所分を説明させていただきまして、そのほか町立診療所、政和診療所につきましては診療所事務長より説明をいたしますので、よろしくをお願いいたします。このページについては特に申し上げることがございませんので、次のページをお願いいたします。次のページ、13節委託料で上から2段目、管理業務委託料1,283万2,000円、これにつきましては歯科診療所診療報酬でございます。平成26年度から28年度の3カ年平均で1,240万円を計上しているところでございます。そのほか特に申し上げることはございません。次のページをお願いいたします。15節工事請負費、歯科診療所ボイラー取りかえ工事411万5,000円でございます。老朽化による機能低下ということで入れかえでございますが、31年経過しております。既存ボイラーの撤去、暖房用ボイラー2台、給湯用ボイラー1台の予算を計上しているところでございます。次の18節備品購入費、歯科診療所備品購入費82万8,000円でございますが、これにつきましては同じく老朽化いたしましたエアコン3台を入れかえる予算を計上しているところでございます。その下、朱鞠内診療所備品購入費で7万3,000円でございますけれども、医師からの要望もございまして、BSのアンテナ設置に係る予算として7万3,000円を計上しているところでございます。続きまして、19節負担金、補助及び交付金、下から2段目、歯科診療所運営費助成金910万円でございます。以前協議会でご説明申し上げましたが、歯科医師より、診療報酬が1,000万円から1,200万円程度に現在落ち込

んでいる状況でございます。そこから従業員として必要な最低限のパート対応の職員に対する経費などを差し引いた場合に、現在の歯科医師の平均的な給与を人事院が調査しておりますが、現在医師の年齢に当てはめると年間1,200万円程度ということになります。今後の幌加内町の歯科治療継続のために医師を確保する上で、先生とも十分協議をしてきております。お手元に配付されているかと思っておりますけれども、先生のほうからは診療所の運営方針の改善ということで技術習得など経営方針の見直しをしていく、そういったお話し合いもさせていただいております。そういった上で、月額30万円を上げ、910万円としまして、先生の安定的な歯科治療のための所得をまずは最低限確保して幌加内町の歯科診療の継続に努めてまいりたいということで、予算を計上させていただきました。そのほか特に申し上げることはございません。

保健福祉課所管の部分についての説明を以上で終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（齋藤雅文君） それでは、説明が終わりました。

111ページに戻ってください。111ページ、112ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 113ページ、114ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 115ページ、116ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 117ページ、118ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 続きまして、診療所所管の4款衛生費の説明をここでお願いいたします。

診療所事務長。

○診療所事務長（蔵前裕幸君） 4款1項4目診療所費のうち、町立幌加内診療所、政和診療所に係る平成30年度予算についてご説明をさせていただきます。

113ページ、114ページをお開きいただきたいと思います。7節賃金1,484万7,000円のうち、1,477万7,000円となります。管理人賃金から臨時技術職員賃金までが両診療所の予算計上となっております。8節報償費389万円は、全額両診療所の予算計上であります。次のページをお開きください。講師謝礼10万円ではありますが、今年度も所内研修に講師を招聘し、職員の資質向上に努めてまいりたいと考えているところでございます。9節旅費124万5,000円のうち、111万円です。特別旅費97万円の計上ではありますが、医師、看護師の研修旅費を予算計上させていただいているところでございます。10節交際費25万円は、全額両診療所の予算計上となっております。11節需用費6,401万5,000円のうち、5,365万8,000円です。



1 節需用費については、特に説明する事項はございません。1 2 節役務費 9 8 万 1, 0 0 0 円のうち、6 4 万円が両診療所に係る予算計上です。この節も特に説明する事項はございません。1 3 節委託料 3, 1 0 6 万 1, 0 0 0 円のうち、1, 5 7 4 万 5, 0 0 0 円が両診療所の予算計上です。この節、一番下、内視鏡消毒器保守点検業務委託料 1 3 万円の計上でございますが、平成 2 5 年に取得しました機器で、経年劣化による補修等が発生するおそれがあることから、保守契約を結び、事前に対応したいと考えているところでございます。1 4 節使用料及び賃借料 1 6 7 万円のうち、1 2 5 万 9, 0 0 0 円が両診療所の予算計上です。1 4 節につきましても特に説明する項目はございません。次のページをお開きいただきたいと思っております。1 8 節備品購入費 3 0 0 万 5, 0 0 0 円のうち、幌加内診療所備品購入費 1 4 0 万 4, 0 0 0 円、図書購入費 7 0 万円が両診療所に係る予算計上でございます。幌加内診療所備品購入費ですが、エックス線画像処理装置をコントロールするパソコンの基本ソフトが旧式であるため、壊れることも予想されることから、ハードごと入れかえを行う予算を計上させていただいております。1 9 節負担金、補助及び交付金 1, 0 2 9 万 1, 0 0 0 円のうち、1 0 7 万 8, 0 0 0 円が両診療所に係る予算計上でございます。下から 3 行目、医師勤務環境改善交付金 5 0 万円の計上ではありますが、1 回当たり 1 0 万円を上限とし、5 回分、本年度も予算計上させていただいているところでございます。2 2 節補償、補填及び賠償金 1 0 万円は、全額両診療所に係る予算計上であります。平成 2 8 年度をもって閉鎖いたしました病院事業会計の病院収益に係る過年度査定等、返戻金が発生したときに対応する予算措置をとらせていただいているところでございます。2 7 節公課費 1 6 万 5, 0 0 0 円のうち、3 万 5, 0 0 0 円が両診療所に係る予算計上でございます。中身につきましては自動車重量税の計上で、特に説明することはありません。

以上、4 目 1 億 3, 5 6 3 万 5, 0 0 0 円のうち、両診療所の予算計上 9, 4 6 4 万 6, 0 0 0 円となっているところでございます。

ここで収支状況について若干ご説明させていただきたいと思っております。予算額 9, 4 6 4 万 6, 0 0 0 円のうち、経常的経費は 9, 3 2 4 万 2, 0 0 0 円、投資的経費が 1 4 0 万 4, 0 0 0 円となっているところでございます。

予算書、歳入の 1 2 款使用料及び手数料、3 4 ページ、3 5 ページをお開きいただきたいと思っております。1 2 款 1 項 3 目衛生使用料、幌加内診療所使用料 8, 2 5 0 万円、政和診療所使用料 2 5 7 万 1, 0 0 0 円、これにつきましては診療報酬及び患者様からの一部負担金の予算計上となっております。

次のページをお開きいただきたいと思っております。2 項 2 目衛生手数料、幌加内診療所手数料 7 6 0 万円、政和診療所手数料 5 万円、これにつきましては健康診断料、文書証明料等の予算計上であります。

そうしまして、両診療所に係る歳入予算は 9, 2 7 2 万 1, 0 0 0 円となり、収支といたしましては先ほど申し上げました経常的経費から収入予算額を差し引きますと 5 2 万 1, 0 0 0 円の赤字となる。本年度赤字になるという予想でございます。

以上で幌加内診療所、政和診療所に係る説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願  
いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） それでは、診療所所管の説明が終わりました。

事項別明細書 1 1 3 ページ、1 1 4 ページについてまず質疑を受けます。1 1 3 ページ、  
1 1 4 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 1 1 5 ページ、1 1 6 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 1 1 7 ページ、1 1 8 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 3 4 ページ、3 5 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 4 款全般について質疑を受けたいと思います。4 款全般につい  
て質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、以上で保健福祉課、診療所所管の質疑を終了させて  
いただきます。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1 時 4 2 分

再開 午後 1 時 5 4 分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じ、審査を続けます。

1 0 款教育費の説明を願います。

教育次長。

○教育次長（清原吉典君） 1 0 款 1 項 1 目教育委員会費、本年度 1 8 9 万 8, 0 0 0 円、  
4, 0 0 0 円の減でございます。この目については特に説明はございません。

次に、2 目事務局費、本年度 1 6 4 万 5, 0 0 0 円、4 7 万 2, 0 0 0 円の増でござい  
ます。1 2 節役務費でございますけれども、支払手数料 5 4 万円ですけれども、高校の学  
校苦情処理に係る弁護士費用として予算計上しております。この節につきましては、平成  
9 年度に補正により対応しております。この目については以上です。

次に、3 目教育振興費、本年度 1, 4 2 7 万 9, 0 0 0 円、1 3 万 8, 0 0 0 円の減、  
1 節報酬の学校運営協議会委員報酬 5 万 5, 0 0 0 円ですけれども、教育長執行方針でも  
申し上げましたが、本年度より設置しますコミュニティ・スクールに伴う委員 4 名分の 4  
回を予算計上しております。次のページをお願いいたします。1 3 節委託料、学校指導助  
手派遣事業委託料 5 1 3 万 7, 0 0 0 円ですけれども、週 5 日、町立学校へ派遣する費用

を計上しております。19節負担金、補助及び交付金、下から6段目のPTA公費負担解消補助金の69万7,000円ですけれども、保護者の義務教育費負担を解消するため、保護者が負担している教材費の3割程度、昨年より21万1,000円を増額し、予算計上しております。下から4段目の高等学校下宿等補助金336万円ですけれども、28名分の予算を計上しております。この制度につきましては、平成28年度から平成32年度までの5年間の時限立法でございます。20節扶助費、就学援助費ですけれども、継続10名、新規2名分を見込んで、学用品費では前年対比2万9,000円の減、給食費につきましては12万8,000円の減を予算計上しております。この目については以上です。

次に、4目学校営繕費、本年度400万円、328万9,000円の減でございます。特別修繕料がなくなったことによる減額でございます。この目については以上です。

次に、2項1目学校管理費、本年度5,108万7,000円、2,760万3,000円の減でございます。次のページお願いいたします。13節委託料、下から2段目のエレベーター保守点検業務委託料10万3,000円ですけれども、建築基準法の改正により荷物昇降機の点検が法制化されましたので、新規として予算計上しております。その下の添牛内地区通学児童送迎業務委託料459万8,000円ですけれども、添牛内便で平成30年度以降最大で8名の児童が乗車する予定でございます。現在の下校便につきましては職員が公用車で対応しておりましたが、本年度から乗車人数がふえ、対応ができなくなりますので、下校便委託業者増額分としまして226万6,000円増額計上しております。15節工事請負費、朱鞠内小学校の教室改修工事788万4,000円ですけれども、朱鞠内小学校につきましては旧中学校に移転いたしました。そのときから普通教室が3教室で運営しておりました。本年から児童数の増加に伴いまして普通教室が4教室必要となりましたので、理科室を普通教室へ改修いたします。家庭科室を理科、家庭科室へ改修する費用を予算計上しております。18節備品購入費、公用車の購入費368万6,000円ですけれども、委託費でも説明いたしました添牛内便の児童数がふえますので、今後を見通しまして10人乗りのワゴン車を購入することで予算計上しております。スクールバスの購入につきましては国庫補助事業の対象となりまして、2分の1の額を歳入においても計上しております。指令前着工が認められておりませんので、納車につきましては早くても7月ごろになる予定でございます。このため、1学期中は委託業者へ貸し付けている車と公用車の2台で対応することとしております。一般備品購入費の内訳ですけれども、幌加内小学校の屋外の指揮台21万3,000円、除雪機91万8,000円、朱鞠内小学校の放送設備39万1,000円を更新することとして予算計上しております。パソコンの購入費41万8,000円ですけれども、朱鞠内小学校の教員用として2台分のパソコン購入費として予算計上しております。

次のページをお願いいたします。2目教育振興費、本年度277万8,000円、151万4,000円の増額でございます。11節需用費、印刷費の129万6,000円ですけれども、小学校用の社会科副読本30部印刷費用として予算計上しております。この

目については以上です。

次に、3項1目学校管理費、本年度4,213万9,000円、466万6,000円の増、13節委託料、エレベーター保守点検業務委託料6万7,000円ですけれども、小学校費同様、建築基準法改正によりまして昇降機の点検が必要になりましたので、新規として予算計上しております。次のページをお願いいたします。15節工事請負費、幌加内中学校のトップライト改修工事1,757万2,000円ですけれども、現在の校舎の屋根につきましては省エネの観点から光を取り込むためアクリル素材の天窗で、いわゆるトップライトの屋根でございます。以前より冬場は屋根からの冷気が入り込みまして、校舎全体が寒くなっておりました。今回は、トップライトにおいても経年劣化から一部破損しておりましたので、トップライト方式から長尺板金への屋根改修をする費用を予算計上しております。この目については以上です。

次に、2目教育振興費、本年度109万3,000円、34万1,000円の減でございます。この目については特に説明はございません。

次に、4項1目高等学校総務費、本年度4,426万2,000円、531万7,000円の増、次のページをお願いいたします。13節委託料、幌加内高等学校体育館天井耐震化改修設計業務委託料279万8,000円ですけれども、体育館の天井がつり天井となっておりまして、耐震化基準を満たしておりませんので、改修に向けての設計業務を委託するため、予算計上しております。18節備品購入費、公用車購入費278万5,000円ですけれども、現在の公用車、平成13年4月購入いたしました。16年が経過しており、走行距離も21万を超えまして、修理費用もかさんでおります。8人乗りのワゴン車へ更新するための予算計上をしております。備品購入費5万4,000円ですけれども、給湯室のガス湯沸かし器が経年劣化によりふぐあいが生じております。この更新をするため、予算計上しております。

次に、2目教育振興費、本年度2,140万6,000円、305万3,000円の増、次のページをお願いいたします。18節備品購入費、教材用備品購入費の内訳ですけれども、教師用のパソコン19台分の更新費用に696万9,000円、生徒用の机、椅子の更新70台分に182万5,000円、視聴覚教室の液晶プロジェクターの更新に16万円、農場の小動物撃退用電気柵に7万7,000円、高校商店会用の食品ラベル印刷機、これに23万7,000円、酸化防止用として業務用の脱気シーラー、これを19万円、製菓用のフードプロセッサー7万9,000円、以上の購入をするため予算計上しております。19節負担金、補助及び交付金、ICT教育推進振興補助金242万6,000円ですけれども、1年生用のタブレット端末の購入に182万2,000円、全生徒分のタブレット用教材費用に60万4,000円を予算計上しております。なお、財源につきましては、国の授業料無償化支援事業によりまして授業料を充当しております。

次に、3目寄宿舎費、本年度4,747万5,000円、478万円の増、13節委託料、管理業務委託料745万9,000円ですけれども、女子寮の管理業務の見直しに係

る人件費分として106万3,000円の増額を計上しております。調理業務委託料ですけれども、朝、夕食の調理を委託することとして予算計上しております。委託料の内訳としまして、月額83万1,600円の12カ月で年間997万9,000円、これが人件費等の基本額でございます。そのほか食材賄い代として年間1,081万9,000円を見込んでおります。歳入につきましては、12款の寄宿舍使用料、それと19款の寄宿舍賄い収入、これを充当することとしております。次のページをお願いいたします。18節備品購入費、寮備品購入費の内訳ですけれども、洗濯乾燥機ですけれども、1台の更新に5万4,000円、厨房の食器洗浄機91万8,000円、食器消毒保管庫97万2,000円、厨房用エアコン129万6,000円につきましては、保健所の衛生指導がありましたので、設置するものでございます。この目については以上です。

次に、5項1目学校給食費、本年度2,995万5,000円、894万8,000円の減でございます。11節の需用費、修繕料ですけれども、厨房窓フィルム31万7,000円、ボイラー減圧弁交換25万1,000円、厨房床換気口の設置に26万7,000円を実施いたします。給食賄い材料費1,333万円ですけれども、本年度につきましても1食当たりの給食費の価格を据え置きまして、小学校で250円、中学校で304円、高等学校で343円とし、給食の提供を行ってまいります。また、本年度から災害の備えとしまして各学校に備蓄いたします給食用保存食、これを16万円新規で予算計上しております。なお、歳入につきましては、19款の学校給食費収入を充当いたします。13節委託料、調理業務委託料940万6,000円、調理業務の人件費分として月額78万7,050円の12カ月分を予算計上しております。

次のページをお願いいたします。6項1目社会教育総務費、本年度908万9,000円、7万5,000円の減でございます。19節の負担金、補助及び交付金、文化連盟活動補助金220万円ですけれども、9団体に対する助成金として32万円、生涯学習フェスティバル事業に10万円、映画上映などの映画鑑賞会に60万円、芸術作品の鑑賞会に10万円、著名人などの招聘講演会に108万円を予算計上しております。

次のページをお願いいたします。2目公民館費、本年度2,490万8,000円、260万4,000円の減でございます。13節の委託料、中央公民館の建材アスベスト含有調査業務委託料69万円ですけれども、中央公民館の建築につきましては昭和51年9月と古く、外壁等にアスベストを含んでいないか調査の必要があるため、調査費用を予算計上しております。15節工事請負費、政和コミュニティセンターの屋上防水改修工事441万8,000円ですけれども、平成12年に建設して17年が経過しておりますので、計画的に実施するものです。

次のページをお願いいたします。3目生涯学習センター費、本年度2,951万6,000円、13万4,000円の減でございます。18節備品購入費、次のページをお願いいたします。DVDの購入費で50万4,000円ですけれども、利用者のアンケートなどにより、35本分の購入費として予算計上しております。図書購入費ですけれども、こ

ちらも学校からの要望、アンケートをもとに、一般書として530冊、児童、生徒用として350冊を購入することとして予算計上しております。この目につきましては以上です。

次に、7項1目保健体育総務費、本年度274万2,000円、2万2,000円の増、19節負担金、補助及び交付金、体育協会活動補助金77万8,000円の内訳ですけれども、13団体への活動助成として51万7,000円、スキー大会2大会分開催の助成として21万6,000円、運営補助分として4万5,000円を支出することとして予算計上しております。リフトの減免補助金74万8,000円ですけれども、大変好評を得ておりますので、引き続き土日祝日の小中高校生に対してのリフト券の助成、シーズン券の購入費の半額助成を行ってまいります。この目については以上です。

次に、2目体育施設費、本年度4,512万9,000円、422万4,000円の増、11節の需用費、修繕料の山村広場物置ドアの枠が腐食しておりますので、シャッター方式へ取りかえする費用として30万円を追加で予算計上しております。特別修繕料ですけれども、スキー場のリフト支柱の滑車26カ所ございますので、その交換費用に442万8,000円、同じクリフトの座板と保温マット93枚分の交換に540万9,000円を整備計画に基づきまして実施いたします。次のページをお願いいたします。15節工事請負費、ほろたちスキー場の索道支柱等塗装工事725万8,000円ですけれども、前回は平成18年に実施いたしまして11年経過しておりますので、索道の支柱と管理棟の屋根の塗装を行います。19節負担金、補助及び交付金、ほろたちスキー場の管理運営補助金2,000万円ですけれども、平成26年7月から平成31年6月までの5年間、指定管理契約によりまして旭川市の株式会社ダンケジャパンと契約をしているところがございます。本年度におきましても経営努力に努めまして、安全運行について指導してまいります。この目については以上です。

次に、8項1目生活改善センター管理費、本年度1,116万5,000円、834万2,000円の増、15節工事請負費、添牛内地区生活改善センター解体工事769万円ですけれども、老朽が著しい施設のため、取り壊し費用を計上しております。この目については以上です。

以上、10款教育費の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書155ページから質疑を受けます。155ページ、156ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 157ページ、158ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 159ページ、160ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 161ページ、162ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 163ページ、164ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 165ページ、166ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 167ページ、168ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 169ページ、170ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 171ページ、172ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 173ページ、174ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 175ページ、176ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 177ページ、178ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 179ページ、180ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 181ページ、182ページです。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 10款教育費全般について質疑を受けます。教育費全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 10款に関する質疑をこれもちまして終わります。

以上で教育委員会所管の質疑を終わらせていただきます。ご苦労さまです。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時16分

再開 午後 2時37分

○委員長(齋藤雅文君) それでは、休憩を閉じまして審査を続けます。

これから歳入の審査に入ります。

説明を願います。

総務課長。

○総務課長(大野克彦君) それでは、一般会計歳入についてご説明いたします。

10ページ、11ページをお願いいたします。1款1項1目町民税、個人で本年度8,243万9,000円、対前年290万8,000円の減であります。29年の農業所得の減額に伴う課税標準額の減が主な要因となっております。

2目法人、本年度731万3,000円、5万8,000円の増額となっております。前年より3社の増でありますけれども、29年の決算見込み額を算出根拠とし、計上しているところであります。

2項1目固定資産税、本年度6,524万1,000円、138万円の減額となっております。評価がえ及び償却資産の課税標準額の減が要因となっております。

2目国有資産等所在市町村交付金473万8,000円、3,000円の減額です。特になし。

続きまして、3項1目軽自動車税、特になし。

4項たばこ税、次のページをお願いいたします。1目たばこ税、これについても特になし。

5項1目入湯税、たばこ税及び入湯税につきましては28年度実績をもとに算出しているところでございます。

次のページ、14ページ、15ページをお願いいたします。2款1項1目地方揮発油譲与税、この目から26ページの地方特例交付金までは概要説明のとおりでありますので、省略させていただきます。

28ページ、29ページをお願いいたします。9款1項1目地方交付税、本年度20億4,600万円、前年と同額となっております。概要説明のとおりでございますけれども、ここにつきましては普通交付税、それから特別交付税ともに算出されるわけでありまして、29年度の決算見込みといたしましては普通交付税で20億7,000万円、それから特別交付税については3月交付があつて正式に決定になりますけれども、今のところ2億程度というようなことで積算しているところでありますけれども、当初予算につきましては前年同ということに余裕を持って計上させていただいたところでございます。

次のページをお願いいたします。30ページ、31ページをお願いいたします。10款1項1目交通安全対策特別交付金、これにつきましては前年同額ということで、特になし。

次のページ、32ページ、33ページをお願いいたします。11款1項1目分担金、5,987万5,000円、1,725万5,000円の増額となっております。これにつきましては、道営の幌加内西部地区畑地帯総合整備事業が終了したことと、それから幌加内中部地区経営体育成基盤整備におきまして2,300万円の増となったことが要因となっております。

続きまして、2項1目負担金57万4,000円、2万4,000円の増額となっております。特になし。

次のページをお願いいたします。12款1項1目総務使用料847万4,000円、1



48万4,000円の増でございます。この目につきましては、ほろみん号の使用料で126万円の皆増が大きな要因であります。正式に認可されたことにより、使用料の徴収が始まったというところでございます。

続きまして、2目民生使用料、特にありません。

3目衛生使用料、これにつきましても概要説明のとおりでありますけれども、歯科診療所、幌加内診療所のそれぞれ減額が大きな要因となっております。

続きまして、4目農業使用料、5目商工使用料、特にございません。

次のページをお願いいたします。6目土木使用料、7目教育使用料、2項1目総務手数料、特にございません。

2目衛生手数料1,165万9,000円、70万4,000円の増額となっておりますけれども、歯科診療所において過去の実績を踏まえ、70万円の増額としているところでございます。

続きまして、3目農業手数料、特にございません。

次のページをお願いいたします。4目教育手数料についても特にございません。

次のページをお願いいたします。40ページ、41ページをお願いいたします。13款1項1目民生費国庫負担金、本年度5,107万円、338万3,000円の増額となっております。これにつきましては、保育所運営費負担金で180万8,000円、児童手当負担金95万8,000円の増額となっていることが要因となっております。

続きまして、2目農林水産業費国庫負担金、特にございません。

2項1目民生費国庫補助金、特にございません。

2目衛生費国庫補助金1,995万4,000円、対前年1,369万円の増額でありますけれども、これにつきましては僻地医療施設運営費等補助金の1,000万円増額が主な要因でございますけれども、例年補正予算で計上しておりましたけれども、今年度は当初予算から収入確保ということで計上させていただいたところでございます。次のページをお願いいたします。42ページ、43ページをお願いいたします。一番上段、循環型社会形成推進交付金995万4,000円の増額でありますけれども、これにつきましては一般廃棄物処分場の基本設計にかかわる補助金となっております。

続きまして、3目土木費国庫補助金6,725万6,000円、827万9,000円の増額となっております。社会資本整備総合交付金につきましては、下幌加内線の道路改良の新規事業が開始するため増額となっているところでございます。

4目教育費国庫補助金177万1,000円、170万円の増でありますけれども、増の要因といたしましてはスクールバス購入費の補助金169万円が増額の要因となっております。

続きまして、5目から3項2目民生費委託金まで、このページはありません。

次のページをお願いいたします。14款1項1目民生費道負担金から次のページ、2目衛生費道補助金まで、特にありません。

3目農林水産業費道補助金1億5,489万7,000円、1,104万3,000円の増となっております。増の主な要因といたしましては、環境保全型農業直接支援対策事業補助金、この中で1,681万1,000円の増が要因となっております。

次のページをお願いいたします。4目総務費道補助金、5目教育費道補助金、特にありません。

3項1目総務費委託金381万8,000円、比較で140万円の増でありますけれども、これにつきましては右側の中ほどにあります北海道知事選挙事務委託費130万円が増額の要因となっております。

次のページ、50ページ、51ページ、このページについては特にございません。

次、52ページ、53ページ、このページについても特にございません。

次のページ、54ページ、55ページをお願いいたします。2項1目、それから2目、特にございません。

3目生産物売払収入で227万7,000円、62万5,000円の減でありますけれども、大きな要因といたしましてはバーク堆肥の売払収入で75万円の減額となっていることが要因となっております。

次のページ、56ページ、57ページをお願いいたします。16款1項1目一般寄附金、特にございません。

2目使途指定寄附金1,000万1,000円で500万円の増額となっておりますけれども、これにつきましてはふるさと納税の寄附金を500万円の増額としてございます。これについては、前年の実績等を勘案し、計上しているところでございます。

次のページ、58ページ、59ページをお願いいたします。17款1項1目基金繰入金4億5,183万7,000円、1億7,501万円の増額となっております。ここににつきましては、財政調整基金において前年に比べまして1億6,500万円の増額としていただいております。これにつきましては、収支でマイナスとなる部分をここで増額し、調整を図ったところでございます。この目については以上でございます。

次、60ページ、61ページ、繰越金については特にございません。

次、62ページ、63ページをお願いいたします。19款1項1目から4項2目過年度収入まで、特にございません。

3目雑入につきましては、6,684万7,000円、98万1,000円の減額でありますけれども、主な要因といたしましては、めくっていただきまして67ページの中ほどにあります寄宿舎賄い費収入において111万4,000円の減額となっているところが大きな要因となっております。この目については以上であります。

続きまして、68ページ、69ページをお願いいたします。20款町債でありますけれども、全体で2億2,530万円ということで、対前年7,550万円の減額となっておりますけれども、内容につきましては副町長の概要説明のとおりでありますので、省略させていただきます。

以上、歳入について説明を終わらせていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書 10 ページから質疑を受けます。事項別明細書 10 ページ、11 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12 ページ、13 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 14 ページ、15 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 16 ページ、17 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 18 ページ、19 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 20 ページ、21 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 22 ページ、23 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 24 ページ、25 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 26 ページ、27 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 28 ページ、29 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 30 ページ、31 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 32 ページ、33 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 34 ページ、35 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 36 ページ、37 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 38 ページ、39 ページです。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 40 ページ、41 ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 42 ページ、43 ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 44ページ、45ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 46ページ、47ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 48ページ、49ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 50ページ、51ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 52ページ、53ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 54ページ、55ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 56ページ、57ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 58ページ、59ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 60ページ、61ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 62ページ、63ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 64ページ、65ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 66ページ、67ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 68ページ、69ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 70ページ、71ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 歳入全般について質疑を受けます。全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 質疑なしと認めます。

これをもって一般会計の質疑を終わらせていただきます。ご苦労さまでした。

#### ◎延会の議決

○委員長（齋藤雅文君） それでは、まず皆様にお諮りをさせていただきます。

本日の委員会をこの程度にとどめ、延会としたいと思います。これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） したがいまして、本日はこれで延会することに決定いたしました。

◎延会の宣告

○委員長（齋藤雅文君） 本日の委員会を閉じさせていただきます。

大変ご苦勞さまでした。

延会 午後 2時57分